

雪州会多与架

雪州会だより

第45号（平成29年版）
東京壱岐雪州会発行

東京壱岐雪州会 創立100周年記念号

～100年を紡ぎ
第2世紀を拓く新たな一歩～

＜特集記事＞

- 会長経験者の座談会 10～13面
- 歴代会長プロフィール 14～16面
- 壱岐〈偉人列伝〉 24～26面
- 雪州会100年の歩み 32～33面

- 壱岐・近現代の歩み 34～35面
-
- 祝100周年 名刺紹介 42～45面

筒城海水浴場

東京壱岐雪州会は故郷壱岐と共にあります



100周年記念 ご挨拶

100周年の喜びを共有し更なる発展・永続へ

東京雪州会 会長 万谷 正

東京雪州会の会員並びに関係各位の皆様方におかれましては、平素より当会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。東京雪州会は本年、創立100周年という記念すべき節目の年を迎えました。当会は雪州出身の関東在住者の親睦会として1917年（大正6年）に先人のご尽力によって発足し今日まで諸先輩方のご努力で良き伝統と歴史を刻んで連綿と続いてまいりました。

今回、100周年記念総会・懇親会を迎えるにあたり、その準備に早くから英知を結集して頂いた実行委員、特別顧問、名誉会長、顧問、理事そして執行役員の方々のご努力にこの場を借りて感謝申し上げます。そして会員の皆様、雪州市・各地区雪州人会・長崎県人会・長崎県下各故郷会そして長崎県

下高校同窓会の皆様と同じ場所で同じ空気を吸い、記念すべき100周年の総会・懇親会を迎えられる喜びを共有できる事に感慨無量でございます。

この100年に一度の慶事をかみしめ、同じ風土の中で育った、世代の異なる人々と共にコミュニケーションをとり故郷「雪州」の発展に寄与したいと思っております。

今後の東京雪州会について述べさせていただきます。故郷会の中では長い歴史、会員数、活動内容ともに他に誇れるものと思っております。これも偏に歴史を積み重ねてこられた先輩の方々のお陰であります。私をはじめ、現在の役員には、100年も続いたこの組織をさらに発展、永続させて後世に引き継いでいく責務がございます。最近には総会・懇親会のご返事の中に、ご高齢等によりやむなく欠席される方が目立ってまいりました。やはり若い方や良く言われる同窓会年齢の方々への参加が必須になります。

早速、対策委員会等を設け組織の強化、会員の増強に知恵を出し、汗をかかねばなりません。会員の皆様、故郷雪州の皆様、長崎県下故郷会の皆様のお力が一番の頼りでございますので、是非お力添えを賜りたく宜しくお願い申し上げます。

最後に皆様の益々のご発展、ご健康を祈念いたします。

（株式会社ファウンテック 代表取締役）

【表紙の説明】

△上段の題字 東京雪州会の第3代会長 眞鍋儀十翁の筆による

△筒城浜海水浴場 白くてきめ細かい砂と、青く澄み切った遠浅の海は海水浴場として人気。夏場のシーズンには島内外から多くの人が訪れる。砂浜は約600m続き、日本海水浴場100選にも選ばれている。キャンプ場やバーベキュー広場も。

写真は雪州市観光連盟提供

神宿る 歴史と文化の島 壱岐 さあ！ 行こう 壱岐へ 友よ！ 集おう 東京壱岐雪州会へ



原の辻遺跡



猿岩



- 壱岐神楽：1987年（昭和62年）国の重要無形民俗文化財に指定。他の地方の神楽とは違い神楽舞も音楽も神職ばかりで奏されるきわめて神聖視され信仰されている貴重な文化財。起源は古く1435年（永享7年）に神楽舞人数のことを記したものがあり室町時代初期には行われていたとされる＝「芦辺だより」から
- 原の辻遺跡：2000年に国特別史跡に指定。弥生時代中心に旧石器時代から中世までの遺跡で日本初の多くの遺構・建物や埋蔵品が発見されている。2010年には一支国博物館がオープン。
- 猿岩：海面からの高さは約45m。海蝕崖の玄武岩で横を向いた猿そっくり。壱岐の観光名所。
（写真は壱岐市観光連盟など提供）

祝 雪州会100周年に寄せて

「国境離島新法」を離島の活力向上に
移住定住の促進や少子化対策など推進

長崎県知事 中村 法道



東京彦岐
雪州会の記
念すべき創
立100周
年を心から
お祝い申し
上げます。

東京彦岐雪州会におかれましては、創設より会員相互の親睦と交流を深められ、今日まで着実に発展されてきたことを心からお慶び申し上げますとともに、万谷会長はじめ会員皆様方の長年のご努力に深く敬意を表します。

さて、県では、最大の課題である人口減少に歯止めをかけるべく、昨年度スタートさせました長崎県総合計画に基づき、移住定住の促進や雇用の拡大、少子化対策の推進などに全力を注いでいるところであります。

そのような中、本県選出国会議員の皆様の多大なるご尽力により、本年4月から有人国境離島法が施行されましたことは、本県離島地域の活

力向上に取り組む絶好の機会であると考えております。

新しく創設された交付金等を最大限に活用しながら、地域の方々との一体となって雇用の確保や交流人口拡大のための施策を強力に推進してまいります。

このほかにも、様々な課題が山積しておりますが、今後とも地域社会の様々な力を結集して、「人、産業、地域が輝く、たくましい長崎県づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、東京彦岐雪州会の皆様におかれましても、ふるさと長崎県の発展のために、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京彦岐雪州会の限りないご発展と、会員皆様方の今後益々のご健勝、ご活躍を祈念いたします。ごあいさついたします。

積み重ねた100年の歴史に敬意
国境離島新法活用で活気づく彦岐

長崎県議会議員 山本 啓介



東京を中
心に在り続
けて100
年。歴代の
諸先輩方の
お取り組み

に心からの敬意と、新たな一歩を踏み出された事に心からの祝意を表します。

100年という歴史は、計り知れない時間の積み重ねですが、島の情景を心の奥底においた「アイデンティティ」を同じくする人たちの集まりであったことは、今も昔もおそらく変わり無く、そう思うと身近に感じ、また、さらに偉大に思えます。

彦岐市は今、「国境離島新法」に活気づいています。

島全体がこの法律をきっかけに動き出し、官民一体となって必要なものを見いだし、その事を生むためには何をすべきか、答えが出るまで考える作業が繰り返されています。

そして、官民間わず、雇用を生み、多くの人が島に訪れる仕掛け作りが

着々と展開されています。是非ともこれらの動きに対しまして、引き続きのご関心をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

「面倒だの、億劫だの」という贅沢は山が許さない。道という道もなく、水を求めるにも困難である、最大危険を冒し、最大努力をもって、緊張の連続で一瞬の油断も許されない。道を探し求めて決断力も必要である。最大の辛苦と闘い、やり通した確固たる信念をもたなくては登頂ができない。山登りに必要なのは、度胸である。また、度胸だけでなく一歩堅実に踏みしめ、軽率と不謹慎を慎む心も必要である。人生もまた同じである。東京彦岐雪州会2代会長松永安左工門翁の言葉です。学び歩むこと、精進します。

崇高な志で歴史刻んだ雪州会100周年 「実りの島」もたらず島」

赤崎市長 白川 博一



東京赤崎
雪州会創立
100周年、誠に
おめでとうございます。

心からお慶び申し上げます。

現在、東京、福岡、関西、東海の4つの地域で活動を続けておられます。赤崎の会の先駆けとして、初代会長の三富道臣氏らのご尽力により創立された前身の雪州会は、故郷を遠く離れた東京の地で、同郷の士が励まし合い、各人の志を高め、錬磨することに目的があったと伺っております。

その崇高な志の下、お互いの交流・研鑽を深められ、歴史と伝統を刻み、1917年（大正6年）の創立以来100年という長きにわたり、ふるさと赤崎に思いを馳せ、赤崎の振興発展に多大なお力添えをいただいております。ことに、厚く御礼申し上げますとともに、歴代の会長様をはじめ役員並びに関係皆様方のご尽

力に対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、赤崎市は平成16年3月の合併から13年が経過し、この間、支国博物館の開館や光ケーブル網の整備、赤崎市ケーブルテレビの開局、福岡事務所の開設、赤崎市民病院の長崎県病院企業団への加入実現、市立特別養護老人ホームの民間移譲、医療福祉専門学校誘致など、様々な事業を展開し、赤崎市の活性化と市民皆様の安全で豊かな生活、暮らしの向上に努めてまいりました。しかしながら、全国の離島・過疎地域が抱える共通の悩みである人口減少・高齢化の波は、赤崎市においても同様であります。

このような中、本年4月、有人国境離島法が施行され、航路航空路運賃の低廉化や輸送コストの低廉化が実現しました。本市では中小企業の創業並びに事業拡大を支援することで地元の企業に雇用を生み出し、地域の活力を取り戻すため、IkizBizの設立をはじめ、赤崎市ふる

さと商社の設立、テレワークの推進など、新たな取組を展開しております。

今後も、離島にとって強力な追い風となる有人国境離島法を最大限活用し、「実りの島」「実りをもたらず島」のコンセプトのもと、市民皆様との協働を念頭に、市政運営に全力で取り組んでまいりますので、東京赤崎雪州会の皆様におかれましては、ふるさと赤崎に対して温かな目で見守っていただき、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、100周年の節目を契機として、東京赤崎雪州会の益々のご発展と会員皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈りし、お祝いの言葉いたします。



データは語る—ふるさと赤崎は今…（平成29年度）

赤崎の総人口	27,337人（前年比320人減）（過去最高時 51,765人＝昭和30年代）
内 訳	男性 13,034人：女性 14,303人
内65歳以上	男女計 9,758人（全人口比 35.7%＝全国平均 27.7%）
赤崎の総世帯数	11,662世帯（過去最高世帯数 11,716世帯＝平成25年）
赤崎の年間観光数	543,910人（平成28年1月から12月）
赤崎市の年間予算	平成28年度決算（一般会計・歳出） 218億4,584万円
	平成29年度当初予算（一般会計） 225億2,300万円

(注) 1. 総人口、人口内訳、65歳以上、総世帯数は平成29年7月末現在
2. このデータは赤崎市役所の協力により東京赤崎雪州会が作成

東京壹岐雪州会100周年によせて 壹岐人の会を組織された先輩に誇り

壹岐市観光連盟 会長 長嶋 立身



本年、めでたく創立100周年をお迎えになられる、東京壹岐雪

州会の皆様方に、心からお慶びを申し上げますとともに、深甚なる敬意を表させていただきます。誠にとおめでとうございます。また今日まで1世紀に亘り、継続するという、地味で大変なご苦勞を重ねられました先輩諸氏に對しまして衷心より賛辭を呈させていただきます。

私事ではありますが、昭和40年代の初めから50年代の後半まで、東京で生活をさせて頂いた者として、ひとかたならぬ喜びを感じております。離島で不便さを感じながらの日常生活から、交通機関の発達もままならない100年前に、世界の東京で、志もあらたに壹岐人の会を組織されました先輩諸兄は、まさしく我々にとりまして大きな誇りであります。さて、観光産業をはじめとして、

あらゆる施策は、2020年の東京オリンピックに向けてのビジョン・取り組みとなっております。本年に施行されました「国境離島新法」を活用しながら、2020年の世界からのお客様をいかに取り込むか、我々の英知と行動力が試される時であります。日頃から、会員の皆様方が、里帰りの際に、友人・知人あるいは同僚等の方々を、同行してお帰り頂いておりますことは、交流人口拡大に大きなご貢献を頂いておりますことと申させていただきます。今後とも宜しくお願い申し上げますとともに、心から感謝申し上げます。

今夏の壹岐は、豪雨で有名になりましたが、わりと暑さが厳しい夏でありました。彼岸の時期には畦道や路傍に彼岸花が咲き、秋から初冬にかけては、ツワブキの黄色い素朴な花が咲く、四季の移ろいを感じる爽やかな季節を迎えます。

首都圏から遠く離れた地でありますが、東京壹岐雪州会の皆様の益々のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。

ますとともに、会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

此の度は誠にとおめでとうございます。

「ひやく」を「ひやく」に

一歩一歩の積み重ねが世代を継ぐ

一支国博物館 館長 須藤 正人



花咲徳栄が全国高校野球選手権大会で、みごと初優勝を果たしま

した。今年は第99回大会でした。東京壹岐雪州会は創立以来、本年度100周年を迎えます。全国高校野球選手権大会が誕生する一年前に、東京壹岐雪州会の母体となる会が産声をあげたこととなります。

その年・大正6年(1917)は、ロシアでは二月革命でロマノフ王朝が滅亡し、中国では孫文による広東軍政府が樹立しています。壹岐関係では牧山耕蔵、松永安左エ門が共に衆議院議員に当選。また、芦辺小学校訓導・真辺貞雄が清石浜で殉職、渡良出身の詩人・三富朽葉が犬吠埼

で友人の今井白揚と共に溺死。そして山崎浦の大部分が大火で焼失して

います。

国内外の諸々の事情の下で生きて私達の先輩は、それぞれの目的に向っての努力を尽しました。心に定めた目標は富士山と一緒でした。一歩一歩、登ってゆくしかありません。この積みかさねが世代を継ぎ、本年、100周年を迎える慶事となりました。心からの敬意を表します。100年を飛躍の年にして下さい。

弊館は8年目の活動を展開しています。特に離島では初めての開催となる「発掘された日本列島展2017/文化庁主催」に向け努力中です。夢にまで見た展覧会の実現のため、館員一同が「館員として成長すること」が大切であると考えています。開館10周年の年もすぐにやっています。頑張ります。

直売所「四季彩館」が新装オープン！ アスパラガス出荷の約7割が東京に

壱岐市農業協同組合 代表理事組合長 川崎 裕司



東京壱岐雪州会が100周年を迎えられますことを心からお慶び

申し上げます。貴会におかれましては、ふるさと壱岐への思いを胸に、

1917年の設立以来、一世紀にも亘り壱岐の振興発展と壱岐農業へのお力添えをいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

さて、最近の壱岐農業の状況についてご報告致します。

畜産については子牛価格の高騰が続いており、子牛の平成28年度の平均価格は84万8千円、肉用牛の年間販売高は50.9億円と過去最高の販売高を記録しております。9月に宮城で開催された和牛のオリンピックとも呼ばれる第11回全国和牛能力共進会には長崎県代表牛として壱岐から3頭が出品され、好成績を納めております。

アスパラガスは28年度も反収(10

アール当たりの収量)において10年連続の県下1位となっております。壱岐のアスパラガス出荷量の約7割(28年度は約250トン)が福岡空港から空輸で東京に旅立っていきまので、会員の皆様のもとにも、もしかすると届いているのかもしれない。

また、JAの直売所アグリプラザ四季菜館が(郷ノ浦町の農協敷地内)10月11日に新装オープンいたしました。壱岐牛や壱岐産野菜、加工品など、地元ならではの産品を地元ならではの価格で販売しております。壱岐にお帰りの際には是非、お立ち寄りください。

結びに、今後とも壱岐農業へのより一層のご支援・ご協力をお願いいたしますと共に100周年を契機に、貴会の益々のご発展と、会員皆様様の益々のご健勝、ご活躍をお祈りいたしましてお祝いの言葉といたします。



全共に県代表で出品された「かねはる号」

『農と食の未来をつなぐ』

壱岐市農業協同組合

代表理事組合長 川崎 裕司

〒811-5132 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触560

電話 0920-47-1331

FAX 0920-47-1283

H P <http://jaiki.sakura.ne.jp>



第30回農協まつり

100年前の創立に驚く 郷土への思いが脈々継承



吉田 寛
岐阜市商工会長

皆様、東京
雪州会創立100周年、誠に
おめでと
うございま

す。心よりお慶び申し上げます。

この慶びの節目を迎えられましたことは、歴代の会長・役員の方々の、連綿と続けてこられたご努力の賜と存じます。また、これまで長きにわたり、ふるさと雪岐の発展のために、一方ならぬ、心温まるご支援を頂きましたことに対し心から敬意を表し感謝を申し上げます。

貴会が発足した100年前まで遡ると大正時代になりますが、当時九州玄界灘の雪岐の島から遙か離れた東京に出て、生きていくことがどのようなものであったか連想することは、戦後生まれの、経済的豊かさを享受してきた私にとって、なかなか容易なことではありません。

当時は電話もまだなく、情報伝達の手段して手紙しかない時代です

ら、ふるさと雪岐の情報は甚だ乏しかったでしょう。ですから、同郷の人から得られる情報は、とても貴重で高価な宝物であったに違いありません。雪岐の人が上京するとなれば東京在住の人を頼って行ったでしょうし、お世話する人は雪岐の最新情報を語ってもらったでしょう。雪岐の情報収集のために、自ずと雪岐出身者が集い、親交の輪が広がっていったのではないのでしょうか。そのような場が雪州会の源となったと思います。そこでは、きつと、ふるさと雪岐に思いを寄せ、同郷の仲間として語り合い、励まし、助け合っていたと思います。それによって、望郷の念が随分癒されていたと思うのです。

私は、雪州会の日頃の活動に、いつも、会員の皆さんのふるさと雪岐への熱い思いを感じてきました。

それは雪州会発足時先達が抱いていた郷土への思いが、100年もの間、脈々と承継され、会員の皆さんの生き方の底流に存在しているから

だと思っています。100周年の節目に、貴会の伝統の重みを再認識しています。

結びに、東京雪州会雪州会の今後益々の発展をご祈念申し上げます。併せて、変わらぬご指導・ご鞭撻を宜しく願います。



高校生の研習会

雪岐市議会議長に 小金丸益明氏就任

雪岐市議会は7月30日の市議選を踏まえて8月10日の初市議会で第7代議長に小金丸益明氏（56歳）を選出した。小金丸氏は芦辺町芦辺浦出身で任期は2年。副議長には勝本町出身の豊坂敏文氏（69歳）が就任。

小金丸氏は「市政の議事機関、最高決定機関に身を置いていることを肝に銘じ、執行機関とは、一步離れて二歩離れずをモットーとして、議会の使命である批判と監視に努めてまいりたいと存じます」と抱負を述べています。（雪岐市市議会だより臨時号）9月14日発行から）



郷ノ浦祇園山笠（雪岐市観光連盟提供）

昨年の総漁獲量は前年度比67% 国境離島新法施行の支援に期待！

壱岐市漁業協同組合長 会長 大久保 照享



東京壱岐雪州会会員皆様には、かねてより多大なるご支援、ご協力を頂きまして厚くお礼を申し上げます。また、今年創立100周年をお迎えになり、誠におめでとございます。

さて、壱岐島には5つの漁協があり、組合員数は2,710人(うち正組合員940人)が漁業に従事し、水揚げの多いものは、スルメイカ、ブリ類、ケンサキイカや、クロマグロ、サワラ等であり、これらは主に

釣りにより漁獲されます。

この他、ウニ、サザエ等を対象とした採介藻や、回遊して来る魚を待ち受ける定置網等、沿岸漁業が盛んな島です。

しかしながら近年、漁獲対象魚種の回遊ルート変動等により漁獲量は減少傾向にあり、昨年度(平成28年度)の水揚げは、スルメイカが近年例をみない不漁で漁獲量は前年度比27%と大幅減、その他の魚種も不調で、総漁獲量は前年度比67%という



鮮魚の競り市場



勝本港

厳しい結果でした。

他方、小型クロマグロの来遊量は多かつたものの、資源管理のための漁獲制限により「目の前に魚はいるが釣ることができない」状況となり、島内漁業者は非常に悔しい思いをしたところであり、漁業者の存続のための対策が喫緊の課題です。

資源減少や魚価低迷の継続等、沿岸漁業を取り巻く環境は厳しいですが、昨年4月に成立したいわゆる「国境離島新法」に基づく各種支援策が本年4月に示され、水産物等の出荷経費や、地域での雇用の創出に対する支援等が開始されました。我々と

してもこれら各種支援策を活用し、壱岐水産業の発展と壱岐島の人口減少に歯止めを掛けるべく取組みを進めてまいりますので、今後ともより一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご活躍とご健康を心からご祈念申し上げます。



イカ釣り舟(壱岐市観光連盟提供)

歴代会長 100年を語る

郷土愛で紡いだ雪州会 1世紀の軌跡

第2世紀へ魅力ある会を目指して



左奥から立石、山内、森谷の各氏、右奥から万谷、牧山の各氏

東京荻岐雪州会は2017年（平成29年）の今年、創立100周年。これまでに12人の会長が就任しています。このうち存命5人が「雪州会100年」を振り返り、同時に今後「第2世紀」に向けての課題などを話し合いました。（出席者は第8代会長立石公博、第9代森谷正規、第10代山内賢明、第11代牧山康敏、第12代（現職）万谷正の各氏。司会は第11代会長・牧山氏）

牧山 雪州会は今年で100周年の歴史を紡いできました。感慨深いも

のがあります。まず100周年を迎えるに当たっての感慨から伺います。立石さんから。

立石 100周年を迎えるということとは大変なこと。初代の渡良出身の三富道臣さんが中心になって作られた雪州会。道臣翁は三富雪州とも号されていたようです。雪州会発足の年に愛息で詩人の三富朽葉さんが犬吠埼海岸で溺れた友人を救おうとして亡くられています。その息子さんをお悼んで犬吠埼に碑を建て、それに「三富雪州これを建つ」と記されているようです。雪州会の名称もその名に因んだものかも知れませんね。

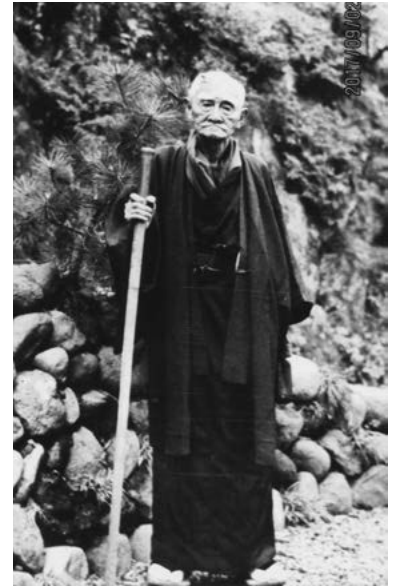
森谷 雪州会はかつて「近寄り難い」感じがして、40代になって初めて出席しました。100年も続いて大変長い素晴らしい会になっている。全国に地域の会は多くあると思います。これだけ長く続いている会は滅多にないでしょう。ただ私は松永安左エ門翁のご尊顔を拝したことが一度もなく本当に残念です。

山内 私は昭和26年に東京に出てきた時、確か暮だったと思いますが、明治記念館で開かれた雪州会に出ました。料理は「高膳」でしたね。明治記念館で開かれたのは、渡良出身

の呼子丈太郎という人がその支配人をされていた関係だったようです。私は学生の身分で参加したのですが、松永翁は和服姿でした。参加された社会人の方全部が、松永さんの席に挨拶に行かれる。私は荻岐にいる時代には松永翁の「偉さ」をあまり知らなかったので不思議に思いましたね。社会に出てから松永翁の「偉大さ」を改めて知り納得しました。

牧山 私も雪州会に参加したのは昭和40年代で眞鍋儀十翁の会長時代です。松永翁とはお目にかかる機会がなく、残念な気持ちですが今も強いですね。私は新聞記者時代に財界首脳や企業のトップに初めて取材する際には「電力の鬼といわれる松永安左エ門翁と同じ玄界灘の荻岐出身です」と名乗ったものです。相手も松永翁の名前は知っていますが松永翁に会ったことのある人はほとんどいませんでした。経団連会長や東京電力社長を務めた平岩外四さんに松永翁の印象は「と尋ねたところ「当時は豊洲の営業所勤務だったのでお会いしたことはありません」とのことでしたね。

万谷 私は50歳代後半に同じ芦辺浦出身の住田先輩に誘われて雪州会に



松永翁（昭和42年12月、杉山慎撮影）

い。一つの島なので仲間意識も強い。また、それぞれの時代に世話役になる中心人物がいたのでしょう。それが伝統にもなっている。

万谷 会員の皆さんの郷土愛と、強いリーダーがいて長続きするのだと思います。

松永翁に杖で払われて！ 怒鳴っても喧嘩上手の人

入りましたので、松永翁も知りません。それにしても創立当時は電話もあまり普及していなくて通信手段も手紙に限られた時代に、相当苦勞なさって招集されたことに感服しますね。

皆の愛郷心が大きな支え 当初は就職の世話にも力

牧山 雪州会が100年も続いた背景は何でしょう。

山内 最初の頃は財政的にゆとりのある人が会長として会の運営にも大きく貢献されていた。当時の会長は沓岐の若い人の東京での就職も世話するような感じがあったように思います。松永さんや眞鍋さんの名前を出して就職にも役立てた人もいますでしょう。そういう縁もあって続いている面もあるのではないですか。

森谷 沓岐の人は特に郷土愛が強い。

山内 雪州会は明治記念館の後は後樂園の涵徳亭で開かれていました。松永さんは終身会長でしたが、会が終って帰り際に階段を降りられる松永さんに手を差し伸べたところ「余計なことはせんでいい」と言っ

て持っていた杖で払いのけられましたね。こっちは足元が危ないから気遣っているのに、何ということだと。ある時、東電の人にこの件を話したら「私たちはいつも遠くから見ているだけ。手を貸すと嫌がられるので：気にせんでいいよ」と言われて合点がいった記憶があります。

立石 松永翁には1回お見受けしただけです。ただ、亡くなられた後、埼玉県志木市の平林寺にある一子夫

人と並んだ平らな石のお墓を見たとき、私はある種の「気品」を感じましたね。生前にあれだけ活躍された方のお墓とは思えないぐらい質素でしたね。

森谷 私は長年、毎日新聞や週刊朝日で書評を担当してきましたが、松永さん関連の本が出ると直ぐ書評欄で紹介しました。松永さんはエピソードの多い人ですね。日本人はどちらかというと官を重んじるが松永さんは野人だから気にしない。昭和25年電力再編成の審議会で大電力会社の社長を「この若僧、何を言うか」と松永さんは怒鳴りつけたが、会が終わるとすぐ「スマン」とフォロースる。喧嘩っ早い人が、喧嘩上手でもある。

牧山 沓岐では雪州会が出来る3年前の大正3年、全国の離島で初めて沓岐に電灯がついています。松永さんと地元の出資で沓岐電灯を設立して実現したそうですが、その後18年間もこの無配会社を松永翁は支えたといえます。まさに恩人ですね。

山内 松永さんの次に会長になられた眞鍋儀十さんは演説が立派でしたよ。私は雪州会の時しかお会いしていませんが、戦前と戦後昭和30年代初頭まで衆院議員を務めて活躍さ

れ、特に普選論者としても有名でしたね。

立石 眞鍋さんとはあまりお付き合いはありませんでしたが、ある時、用事で江東区のお宅を訪ねたところがあります。要件が終わったところで「これから相撲見に行かんかね」と誘われたことを覚えています。残念ながら私は他に用事があって行けなかったが、両国国技館の辺りは眞鍋さんの地元だったわけですね。

芭蕉研究家の眞鍋翁 普選運動でも活躍！

牧山 私が最初に雪州会に参加したころ眞鍋先生は会長でした。挨拶は沓州弁でしたが言葉に勢いがあったことを強く印象に残っています。「僕は早く会長を辞めたいがなかなか辞めさせてくれない」とこぼしておられた。眞鍋翁は国会議員であり、普選運動にも尽力された。同時に俳人松尾芭蕉の研究でも有名ですね。集めた資料を地元の江東区に寄付されています。区はそれを基に「芭蕉記念館」を建設しています。更には今の会報「雪州会だより」の創刊にもご尽力されていることを忘れることは出来ない。

森谷 松永さんや眞鍋さんなど沓岐

には豪傑が多い。最近の政治家にはそんな豪傑と言えるような人がいないですね。

万谷 私は芦辺小学校出身で芦辺小の校歌は松坂直美作、遠藤実作曲なので松坂先生の名前は小学時代から良く知っていました。でも先生にお会いしたことはありません。



NHKに出演中の松坂直美氏。相手は加賀美アナウンサー(岡野みち子氏提供)

作詞家で古賀正男ら親交 吉岐の小中学校校歌多数

立石 松坂先生は沢山の歌謡曲を作られていますね。美空ひばりを始め多くの歌手の作詞を手掛けられています。NHKテレビラジオなどにも良く出演されていますが、そこでもふるさと吉岐のことをよく話されて

いた記憶があります。

牧山 古賀正男、遠藤実、小関雄二などとは深い交流があったそうですね。一昨年には古賀正男記念館に1年間、松坂先生の写真や歌詞など関連資料が展示された。また平成27年には松坂先生の作詞家人生を描いたビデオ「昭和を生きた歌謡詩人」松坂直美の生涯」が息女の岡野みち子さんの全面協力により制作された。村上安弘さん(雪州会幹事)が制作監督として協力し、立派な内容です。雪州会の多くの方が支援しましたね。

山内 吉岐ロータリークラブ創立30周年の時、松坂さん作詞「玄海ワルツ」の石碑を岳の辻の頂上に建立しましたが、その打ち合わせに銀座の喫茶店などでよくお会いしましたね。話は違いますが、松坂先生は郷ノ浦町長選の時、元町長の徳田久武氏の選挙応援に遠藤実さんを連れてこられたこともあります。松坂さんと徳田さんは中学の同期生だった縁で来られたようです。徳田さんは見事に当選された。松坂先生は吉岐の多くの小中学校の校歌や芦辺町歌など多く作詞され、吉岐に強い愛着を持っておられた。

牧山 それでは皆さん、会長在任中

の思い出をお話いただきたい。

立石 元寇襲来720年記念事業で小金丸幾久先生による少式資時公(若干18歳で日本側の総大将として吉岐瀬戸浦などで元寇軍と戦った武将)の銅像建立の式典が吉岐であり大きな思い出ですね。馬上の雄姿の銅像は芦辺港の船着場に建立されています。

牧山 これには第7代会長の後藤岡丸さんが率先して会員の協力を仰ぐなどご尽力されましたね。小金丸先生も吉岐の歴史を後世に残そうと相当熱意を込めて制作されたことを小金丸先生ご本人から私もお聞きしました。



吉岐市校長会 雪州会側メンバー (竹富鉄一氏提供)

森谷 平成18年ですが、会員の吉岐ツアーを始めて、雪州会役員と島外の人8人を含め20数人が参加しました。その時開いた中学統合前の吉岐の小中学校の校長会との意見交換会を思い出します。吉岐からも校長会や市教育長ら約30人が参加されとても有意義でした。当時の校長会会長の竹富寛先生がご尽力されましたね。東京から参加した島外の何人かはその後、雪州会総会にも出られた。また市長ら幹部との意見交換も出来ました。平成18年度からは吉岐の環境緑化を目指して植樹寄付も実施しています。

会の名称変更で議論白熱 吉岐ツアーやイベントも

山内 平成22年に一支国博物館の完成を機に吉岐ツアーを行い、東京長崎県人クラブなど含めて20数人が参加した。5月末だったので夜のホテル見学もあり好評でしたね。ところで私は雪州会を吉岐出身者全員が参加しやすい雰囲気をつくるため吉岐高も吉岐商高も関係なく「オール吉岐人」の意識を持って役員構成なども考えた。商高出身の副会長も初めて実現しました。

また雪州会総会の際には吉岐から

折角、多くの幹部が出席されるので総会前日の夕方に市長や各団体トップ、各地区雪岐の会会長、雪州会幹部とで雪岐市の活性化に向けての意見交換会を始めた。最初は30人近く出席し良い意見も出た。これをどう実現するかが問題で、結果を翌年に報告してもらうようにした。現在は人数を絞っています。

牧山 総会出席者の増加に向けて、それまで《雪州会だより》の配布は総会出席者と寄稿者・広告主に限定していましたが、総会案内の返事をいただいた方には欠席者も含めて配布することにした。会報を通じて雪州会に親しみを感じていただくためです。その効果もあり総会出席者も以前より増えて現在では200人台が定着しています。

また各種のイベントについても積極的に参加を呼びかけました。特に玄海酒造さんの「雪岐玄海酒造綱引クラブ」の全国綱引大会（東京）やハタ揚げ大会などですね。雪岐への植樹寄付も10年以上続きましたが、雪岐市林業研究同志会の会長を長年務められた市岡賢さん（箱崎）には献身的な協力をいただいた。

山内 綱引大会といえは毎年、雪州会や県人クラブの皆さんに大勢応援

に来ていただいて選手には大きな励みになっていきます。今年で23回連続で長崎県代表として出場しています。

牧山 会の名称変更ですが従来の「東京雪州会」から「東京雪岐雪州会」への変更を提唱し、賛否両論、活発な議論の末に役員の賛同を得て実現できました。「東京雪州会」では何の団体かはつきりしない。そこで「雪岐」を挿入して団体の性格を明確にし、同時に雪岐の宣伝にも役立つ狙いがあります。雪州会95周年の時です。

山内 創立当初からの「雪州会」の名も残ったし、新たに「雪岐」も入り、基本精神はずっと繋がっている



第1回雪岐ツアー（竹富鉄一氏撮影）

と思いますよ。

森谷 冠に「東京」を残したのも良かった。やはり東京は世界のトウキョウだから。

万谷 会長に就任して3年経ちますが、お陰様で多くの人脈を得ることが出来ました。各地区の雪岐の会や県下各地区の東京会、同高校の同窓会などにも参加させていただき雪岐雪州会を知ってもらうよう努めています。今年の100周年にはこうした人脈を生かして多くの方にご出席していただくことが出来ました。

若い人呼び込む刺激策を 雪岐の人口減少も影響大

牧山 これからは第2世紀に向かう雪州会の課題や注文を。

森谷 近年は東京の大学や企業などに就職する人が少ない。私たちの頃は上京して大学に進学する人や就職する人が大勢いましたね。

万谷 今年は関東の大学に進学したのは一人だそうです。

山内 その一人も女性。雪岐も人口減が続いている。県でも「よそに行かないで県内に…」といった政策を打ち出しています。そうすると今後は現会員の子弟や関係者、それに転勤で上京してくる人などにも積極的

に呼びかける必要があると思う。

森谷 雪岐の高校生など若い人に東京の良い面を伝えて刺激を与えるのもいい。

立石 雪州会を今後も盛り上げていくには魅力ある会にして若者に「参加してよかった」と思われるような雰囲気づくりも大切でしょうね。

万谷 どの地域会や高校同窓会でも若い人をどれだけ呼び込むかに苦心しています。関西雪岐の会では大分前から「青年部」を設けて総会の宴会なども取り仕切って若者同士が結構楽しんでるようです。雪州会でもこうした課題に積極的に取り組んでいきますので先輩会長の皆様、そして会員の皆様にもご協力を宜しくお願いします。

牧山 長時間、貴重なご意見を有り難うございました。雪州会第2世紀に向けて若い皆さんの力に期待し、更には先輩の皆さんの建設的なアドバイスをお願いしましょう。

東京雪州会 歴代会長プロフィール それぞれ個性豊かで各界で活躍

雪州会創設の中心

初代会長 三富 道臣翁

(1856～1937) 郷ノ浦町渡良出身

1887年に第5代雪州会石田郡長に就任。96年に郡長職を返上して上京。金融業「三功社」を開業し、実業家として成功。1917年(大正6年)に同志と雪州出身者の親睦会「雪州会」を創設し初代会長に就任。それを源流として今日の雪州会100周年を迎える。詩人として知られる三富道臣は愛息。雪州会創立の年に犬吠埼で溺れた友人を助けようとして朽葉も溺死。

「電力の鬼」

戦後の9電力体制を主導

2代会長 松永 安左エ門翁

(終身会長)

(1875～1971)

石田町印通寺出身

「電力王」と称され戦前戦後を通じ全国で舞台上に活躍。昭和25年、戦後の電力再編成問題について安左エ門翁が提示した再編案がGHQ司令官マッカーサー元帥と吉田茂首相との会談で最終決定され九電力体制が確立。電力の安定供給を通じて日本経済発展の礎を築き政財界に大きな影響を与えた。慶応大学に学び福沢諭吉の薫陶を受け



昭和28年秋埼玉県柳が瀬に於いて開催された松泉会(松永安左エ門翁を囲む会)主催の園遊会の時のものである。前列向かって右より松永安左エ門翁(76歳)高石真五郎(毎日新聞社長)緒方竹虎副総理(当時、吉田内閣)重光葵(元外務大臣)石井光次郎(元衆議院議長)、後列中央眞鍋儀十当代会長(第3代)の姿も見える=岡野みち子氏提供

る。

英国の思想家トインビーの「歴史の研究」を翻訳するなど文化面でも活躍。「耳庵」の号で茶人としても有名。絵画・陶器など古美術品の収集でも知られる。大正3年には雪州電燈を設立し離島で初の電灯をつけた。雪州市石田町に「松永安左エ門記念館」がある。

戦後21年に埼玉県柳ヶ瀬から小田原に移住し広大な小高い丘に簡素な「老樾荘」を建て、池田勇人首相ら多くの政財界人や文化人らを招いて会談した。

芭蕉の研究でも著名「雪州会だより」創刊

3代会長 眞鍋 儀十翁

(1891～1982) 芦辺町箱崎出身



雪州会創刊号と儀十翁 (岡野みち子氏提供)

蕉記念館」が設立された。

1973年には今も続く「雪州会だより」を創刊。創刊号で儀十翁は「古里は良きかなとは文人の诗情のみでは無い。等しく吾等の感傷でなくてはならぬ。そこに思いを致した雪州会同人が、この会員の郷愁を充たさんとし、ここに『雪州会だより』を編輯して」と記す。題字も儀十翁の筆による。1971年から8年間会長の後、名誉会長。

戦前戦後に東京から衆院議員に6回当選し、政界の論客で普選運動でも活躍。松尾芭蕉の研究者としても知られる。芭蕉に関する多くの資料を1981年に江東区に寄贈し「芭

松永安左エ門翁に師事し東北電力副社長も歴任

4代会長 白川 應則氏

(1895～1998年勝本町鯨伏出身)

松永安左エ門翁に師事し戦後の九電力体制の発足とともに東北電力の副社長に就任。温厚篤実な人柄である反面、芯の強さはやはり杵岐魂そのものと評される。技術畑出身らしい視点で杵岐の発展策にもいろいろ助言を与えた。1979年から6年間会長。

戦前は海軍で南方に、戦後は建設関係等で活躍

5代会長 長岡 元氏

(1906～1986年郷ノ浦町沼津出身)

日大卒後、海軍主計中將・深水貞吉氏(勝本町出身)の引きで海軍省に入る。戦時中は海軍司政官として南方にて活躍。戦後は建設省、住宅金融公庫などの要職を歴任。1986年会長に就任するも健康を害し約1年の短命に終わる。「雪州会だより」第14号では「…これら(歴代)会長に一貫していることは、遠くにおいて杵岐を思う『強い郷土愛』でありました。」と記す。

作詞家として著名、
多数の名曲を発表

6代会長 松坂 直美氏

(1910～2002年)

芦辺町深江出身

作詞家として知られ日本詩人連盟副会長なども歴任。作曲家古賀政男や遠藤実などと組んで活躍。歌謡界での人脈の広さは抜



松坂直美氏と美空ひばり(岡野みち子氏提供)

群。松永安左エ門翁の伝記「わが人生は闘争なり 松永安左エ門の世界」(香椎産業)を出版し、松永翁の波乱に富んだ人生を描いた。東京杵岐雪州会ではこの本を再出版した教文出版(社長立石公博氏)の協力を得て2004年に杵岐市の中学・高校などに寄贈。杵岐に対する愛着は強く、多数の関連資料・写真を故郷の芦辺小学校に展示する企画が進行中。1987年から5年間会長の後、名誉会長。

会長や幹事長歴20年以上、杵岐のPRに全力

7代会長 後藤 罔丸氏

(1919～2009年芦辺町瀬戸浦出身)



眞鍋会長から松坂会長まで4人の会長を支えて19年間幹事長を務めた後1994年に会長就任。故郷に対する想いは人一倍強く、杵岐出身者の企業人にも側面から協力した。更に杵岐出身の小金丸幾久氏の「少弐資時公」の銅像制作も支援。銅像は杵岐芦辺港に建立。終戦時は厳寒のシベリアで3年間の苛烈な抑留生活も体験。5年間会長を務めた後、名誉会長。

独創的なアイデアで通信教育や講演CD実現

8代会長 立石 公博氏

(1932～郷ノ浦町志原出身)

上京後、1965年にコンサルティング業を始める。67年に通信教育事業を主業務とする「教文出版」を設立。簿記事務や医療事務関係などの通信販売で全国展開を開始して軌道に乗せる。1999年には国内外の著名な識者を講師とする「講演CDカセット」の制作・販売をスタート。松坂直美氏著の「松永安左エ門の世界 わが人生は闘争なり」の制作(復刊)も実施。1

999年から3年間会長。名誉会長12年を経て現在は特別顧問。

技術評論家として活躍し著書は100冊近く

9代会長 森谷 正規氏

(1935～石田町出身)

1960年東京大学工学部卒、日立造船を経て67年に野村総合研究所に入社。野村総研では技術動向の調査分析や技術展望などに取り組む。87年に野村総研を退社して技術評論家として独立。東京大学先端科学技術研究センター客員教授や放送大学教授、LCA大学院大学副学長など歴任。週刊朝日や毎日新聞で20年以上書評を担当。雪州会では2002年から4年間会長を務め、06年には雪州会「ふるさと沓岐ツアー」を初めて実現し沓岐市の中学校長会などとの意見交換も実施。現在名誉会長。

雪州会の重鎮・長崎県人会長など幅広く活躍

10代会長 山内 賢明氏

(1932～郷ノ浦町志原出身)

昭和26年の大学在学時代から雪州会の総会に参加し、当時の松永安左エ門翁らの警咳に接する。以来60年余り雪州会に携わる重鎮。大学卒業後は大成建設関連の会社等に勤務。1985年に沓岐に帰り玄海酒造社長に就任。関東を含む都市圏にも営業範囲を拡大。同社の「沓岐玄海酒造綱引クラブ」を全国綱引大会に県代表として23年連続出場に導き、雪州会や長崎県人クラブの応援を通じて交流機会の拡大にも貢献。

2010年に長崎県人クラブ理事長、2014年には東京長崎県人会会長にも就任し活躍の幅は広まる。酒の強さと面倒見の良さは他の追随を許さない。副会長、顧問を経て2006年から4年間会長を務め、現在名誉会長。

企業・財界首脳等の取材通じ幅広い人脈

11代会長 牧山 康敏氏

(1938～芦辺町箱崎出身)

副幹事長(4年)、幹事長・副会長(8年)を経て2010年に会長就任。幹事長就任以来、現在まで(雪州会だより)の編集・制作を担当。沓岐の緑化寄付実現や東京雪州会の「東京沓岐雪州会」への名称変更などにも尽力。1963年大学卒業と同時に新聞社に入社。主要業界や通産省など主要官庁、国会等取材。移動特派員として豪州、東南アジア、欧米の経済状況や技能五輪(アイルランド)、1986年の東京サミットなど取材。退社後1999年に講演関係の事業に参画し、各界約900人の著名人の講演CDを収録。日本記者クラブ会員で要人の会見に今も出席。2014年10月名誉会長。

堅実経営・沓岐への社員旅行も7年連続

12代会長 現職 万谷 正氏

(1948年～芦辺町芦辺浦出身)

1971年福岡大学商学部卒後、化学工業薬品メーカー・アイコーに入社。同年、同社と米社との合弁会社に出向。1974年アルミ部門で2大技術革新の1つアルミニウム溶湯処理装置・フラックスファイダーを開発。トヨタ自動車の全工場採用。41歳で同社取締役、48歳で社長。平成11年に50歳で同社の全株式を取得し現ファウンテックとして独立。30%のシェアを70%に拡大。取引先はトヨタ、神戸製鋼等大手企業中心。残業ゼロを徹底する堅実経営。毎年5月に実施する全社員参加の2泊3日の沓岐旅行は今年で7回目。雪州会の活性化に向け奮闘中。副幹事長の後、2014年から会長。

祝 雪州会100周年に寄せて

「宝の島」
「日本橋 長崎館」入館者56万人超

長崎県東京事務所長 下田 芳之



東京 彦根
雪州会の創
立100周
年を心から
お祝い申し
上げます。

大正6年に発足以来、会員の皆様には、会員相互の交流親睦を図るとともに、故郷彦根をはじめ長崎県の応援団として、様々なご支援・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。彦根は、自然が織り成す美しい景



県産品の展示に人気

色、原の辻遺跡などの史跡、新鮮な海の幸、彦根牛、彦根焼酎、温泉など、枚挙に暇が無いほど様々な資源に恵まれた「宝の島」であります。

昨年3月に開設したアンテナショップ「日本橋 長崎館」では、彦根産の商品も含め、県内各地の物産を取り扱っており、本年8月末までの約1年半で56万人を超える方々にご来館いただきました。今後も首都圏における情報発信拠点として本県の魅力を発信していく所存です。引き続き、ご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

また、県では、大都市圏などからの移住促進に取り組んでおり、東京では有楽町にある東京交通会館の「ながさき移住サポートセンター」に相談員2人を配置し、1人でも多くの移住がスムーズに進むようお手伝いをさせていただいておりますので、ぜひご利用ください。

さらに、「ふるさと納税」について、個人はもちろん、企業版もありますので、ご協力をお願いいたします。

今後とも、長崎県の振興のために、所員一丸となって職務に励んでまいりますので、引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

魅力あふれる彦根と私
恩師山西先生そして焼酎やコメ

長崎県人クラブ常務理事 男澤 浩一



雪州会100周年おめでとうございます。います。

彦根を初めて訪れたのは2003年夏。高校（長崎西高）時代の恩師ご夫妻が熟年結婚され、お訪ねしたのがきっかけでした。

エメラルドグリーンの海岸、丘の上から見おろす夕陽の美しさ、彦根米のシャリで握った寿司の美味は東京のどんな寿司屋も敵わない、これに彦根焼酎があれば天下一品。忽ち彦根の大ファンになってしまいました。

結びに、東京彦根雪州会の今後益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

恩師ご夫妻の夫君、山西實先生はご専門の日本史の研究を生かされ、今も「一支国博物館ボランティアの会」の代表を務めておられます。奥様の美佐子先生は、東京の音大卒のお嬢様で、我々の先輩時代から人气的で、授業やクラブ活動の両面で大変お世話になりました。結婚を機に彦根に住まわれてからは、彦根文化ホール（郷ノ浦）で学生、生徒を中心に「レインボーコンサート」を毎年開催するなど、彦根の音楽文化の啓蒙に大きく貢献されました。

もう一つのご縁は長崎県人クラブの活動を通してご面識を得た同クラブの山内賢明理事長（長崎県人会会長）との出会いであります。3年前、理事長が経営される玄海酒造(株)本社をお訪ねする機会を得ました。清潔に整備された工場内は歴史の重みに



右手前が男澤氏、奥の2人が山西ご夫妻

満ち溢れ、山内理事長自ら前垂れして働いておられる姿を目の当たりに

〈壱岐を旅して〉

壱岐の魅力は食の新鮮さと美味
松永翁を知り図書館で猛勉強！

東京都 福田 玲子



「うわ、これ何？」
これが、辰ノ島の遊覧船に乗って「海の宮殿」を見た時にあまりの素晴らしさに思わず口から出た言葉。そしてそこで撮影した写真を見せた瞬間の友

したときは、心底頭が下がりました。同社を代表する壱岐焼酎「スーパーゴールド」の琥珀色とあのマイルドな香りはワインやウイスキーに使用する木樽を使って熟成させたものだと知り、大変勉強になりました。わずかか東西15km、南北17kmの島でありながら、大陸文化を日本に取り入れる橋渡し役を担い「電力の鬼」と言われた松永安左エ門翁を輩出するなど歴史と文化がぎっしり詰まった島の魅力を探るため、私はこれから何回も訪れてみたいと思っております。

生きと壱岐に行く」という意味を込めて、「壱岐行きクラブ」と命名し、初めて壱岐の地を訪れました。

冒頭にも述べたように、自然の雄大さと海の美しさを感じることで、大きな辰ノ島を始めとして、建物とジオラマの素晴らしい一支国博物館、お腹の真ん中が開いている「はらほげ」地蔵、壱岐のモンサンミシエルともいわれる小島神社、ソニーのウォークマンの初期のCMを彷彿とさせる猿岩、砂浜のきれいな筒城浜など、壱岐は見どころ満載の島でした。

生雲丹の美味しさに感激
幸せ！生きてて良かった

人たちの第一声です。
ご主人が東京壱岐雪州会副会長で私の会社生活の先輩である坂井伸州さん、昭江さんご夫妻にお声をかけていただき、5月下旬の2泊3日で、坂井さんご夫妻、私の親戚・友人の総勢15名。下は還暦から上は米寿までの平均年齢72歳、とは言ってもみんな凄いパワーの集団ですが、「生き

壱岐を訪れたことのある方なら感じるのだと思いますが、壱岐の魅力は食の新鮮さ、美味しさです。壱岐牛や壱岐の濃い牛乳の美味しさはもちろんのこと、中でも名産の雲丹は絶品でした。棘の部分はまだ動いている雲丹をいただいたのは生まれて初めてで、その美味しさに感激し、「幸せ…、生きていてよかったです！」と思ったほどです。また、普段あまり焼酎を飲まない私が、食事時は雲丹と共にひとりで焼酎を飲み続けていました。玄海酒造さんで試飲させ



後列右端が福田さん

ていただいた焼酎の中では、アルコール度の一番高い「松永安左エ門翁」が一番美味しいと感じました。そして松永安左エ門翁と言えば、今回、もう一つ印象深かったこととして、現在の日本の産業発展の基となる電力の安定供給に尽力され、「電力の鬼」と呼ばれた松永安左エ門翁の記念館を訪ねることができたことです。お恥ずかしい話ですが、勉強不足の私は松永翁を全く存じ上げませんでした。記念館で説明を聞くうちに自分の中で松永翁への興味が湧いてくるのがわかりました。時間があつたら、もう少し記念館で説明を聞いていたかったです。しかし、松永翁を知ったおかげで、東京に戻った私は、何十年かぶりで図書館に足を運ばせてくれた松永翁に

感謝しつつ、彼に関する本を読んでいます。

最終日の最後のお土産ワールドであるイオンで、元気な「彦岐行きクラブ」が買物をしたあとには、かすまきや塩飴などのお土産コーナーは完売で商品が何もなくなり、その光景には思わず笑いが出てしまうほどでした。また、幸運なことに生の新雲丹を購入できた私は、東京

に戻り彦岐の焼酎を片手に新雲丹を堪能しました。

仕事に追われる毎日で、ほとんど前知識もないままに訪れた彦岐でしたが、坂井さんご夫妻の綿密な旅行計画、お気遣いのおかげで、中身の濃い、素晴らしい旅行になりましたこと、改めて坂井さんご夫妻には心から御礼申し上げます。

(大田区在住)

松永安左工門翁と北里大学医学部 日本の医学・医療の発展にも寄与

長崎県立平戸高校東京同窓会長 森 和十郎



東京彦岐
雪州会100周年、誠に
おめでと
うございま
す。

日頃は長崎県人クラブが主催する広範な活動等を通じて種々お世話になり、誠に有り難うございます。

さて、彦岐出身の大先輩・松永安左工門翁が、戦後初めて認可された「北里大学医学部」の設置後援会長として多大な貢献をされたことを皆さんご存知でしょうか？

神奈川県相模原市の北里大学病院の記念資料室には、威風堂々とした松永安左工門翁の胸像とともに「昭和46年7月26日の大学病院開院に当たり、多大なご尽力を賜りました電力王で北里大学医学部建設後援会長であられた松永安左工門氏の自筆による定礎石です。」と記された石碑が現在も展示されています。

北里大学は世界的な細菌学者であり、我が国の近代医学と衛生行政の発展に多大な貢献を果たした北里柴三郎博士を学祖と仰ぎ、北里研究所創立50周年を記念して設置されまし

た。現在は医学部を始め7学部と4病院を擁し、九千余名の学生・大学院生が在籍しています。平成27年には北里博士の学統を受け継いだ大村智博士がノーベル生理学・医学賞を受賞したことは記憶に新しく、北里の職員であった小生にとっても大いに誇りに思います。

医学部創設の昭和40年代は、大学紛争の嵐が吹き荒れる一方で、高度成長政策による産業の発展や医療・医学の進歩に伴い、全国的に医師不足が訴えられるようになりました。

そうした社会状況にあつて、北里大学が新設医大の理想を具現化するには、殊更に資金の膨張を招き、その調達には一層の努力が必要でありました。そこで、担当理事等は関係者の伝手を頼って東京電力中央研究所を訪れ、松永安左工門翁及び東電社長を囲み、北里大学の構想・理念を説いて後援をお願いしたところ、松

永翁は「北里先生の名声をけがすことのない立派なものを作りなさい。金の問題もあるだろうが、要するに事業は人にある。わしは下請けをしますから。」と応諾したそうです。

こうして北里大学医学部設置後援会は、会長・松永安左工門翁を筆頭に斯界の有力者が名を連ねた強力な

組織となり、構想を実現する財政上の信用の基盤となつて、大きな成果を産むに至りました。

昭和45年3月に医学部は認可され、翌年4月には国立劇場で大学院竣工記念式を行い、同時に北里柴三郎先生を忍ぶ「怒涛」を文学座が公演して盛大な祝賀パーティを挙行しました。しかし、松永安左工門翁は残念ながら晴れ舞台を見ることなく「定礎」の文字を永遠に残して逝かれたのです。

爾後、凡そ50年を経て、北里大学が引き続き教育・研究・診療の発展と社会貢献に邁進していることはご承知の通りです。

「電力王」「電力の鬼」と苛烈な印象の渾名を持つ松永翁ですが、北里大学医学部・病院の設立を通じ、日本の医学・医療の発展にも寄与されたことをご紹介してご挨拶いたします。

最後に重ねて、東京彦岐雪州会100周年を慶び、併せて益々のご隆盛を祈念申し上げます。

参考資料・春秋記略 北里大学医学部

叡智と実践 北里大学医学部20年の歩み

(北里大学医学部元事務局長)

玄界灘に煌めく雪の星
 壱岐高校はさらなる高みを目指します！

長崎県立壱岐高等学校校長 山口 千樹



これまで
 の故郷への
 貢献に敬意
 を表します
 とともに、
 今後ますます

すのご発展を祈念いたします。

【概況】学級数は1学年6クラスで、
 全校生徒487名です。この他、中
 国と米国から留学生を1名ずつ受け
 入れております。島内の生徒数減少
 のため、平成30年度から1学級減と
 なる予定です。

学校は落ち着いており、生徒は勉
 強に部活動に全力で取り組んでいま
 す。職員も「師弟同行」のスローガ
 ンのもと、朝早くから夜遅くまで勉
 強や部活動の指導に尽力していま
 す。また、保護者や地域の協力も篤
 く、大変感謝しております。

【進路実績】この3月の卒業生14
 8名のうち、大学等進学が136名、
 一般就職が5名、公務員が7名で、
 壱岐市内に8名が残っています。大
 学合格者は、国公立大学が61名で県

内屈指の合格率であり、海外の大学
 に2名、関東地方に1名が進学して
 おります。

【部活動等】この6月の高校総体で
 は、各運動部とも善戦し、陸上部で
 2名が北部九州インターハイに出場
 しました。野球部の活躍も大いに地
 元を沸かせました。文化部では、放
 送部と弁論部が全国総合文化祭（仙
 台市等）に出場し、書道部が九州大
 会（沖縄県）に出場しました。

また、中国語コースの生徒が各種
 スピーチコンテストで上位を独占し
 ております。

【お願い】生徒数は減少しています
 が、さらなる高みを目指した教育活
 動を行って参りますので、皆様から
 の倍旧のご支援・ご厚情を、お願い
 いたします。



模擬議会



3年生学習合宿

壱岐高校の在校生

	男子	女子	合計
1 学年	78	84	162
2 学年	86	84	170
3 学年	78	77	155
合 計	242	245	487

岳の辻展望台から見た郷ノ浦湾
 （壱岐市観光連盟提供）



彦岐商業高等学校の現状報告 地域貢献通じ生徒自身も成長

長崎県立彦岐商業高等学校校長 大坂 良一



東京彦岐
雪州会が創
立100周
年を迎えら
れたこと
に、心から

お喜び申し上げます。

彦岐商業高校も2年後の平成31年度には創立70周年を迎える伝統校になりました。今年度は91名の新入生を迎え、全校生徒296名でスタートしました。前年度の卒業生は、95名が巣立っていき就職が43%、進学が57%でした。彦岐島内に就職した生徒が18名で、関東への就職者は1名でした。

日々の教育活動において、機会あるたびに校訓の「知性・信義・勇氣」を大切にし、素晴らしい校訓を意識して行動するよう生徒に話をしていきます。教育方針の「あいさつの励行・整理整頓（掃除）・時間厳守」を3つの柱として生徒は、落ち着きのある学校生活を送っています。生徒・職員全員で毎日「朝の読書」を実施し、

すがすがしい気分を1日をスタートし、放課後には校内のあちらこちらで部活動に励む生徒達のかげ声と吹奏楽部や彦岐荒海太鼓部の演奏が聞こえ活気に満ちあふれています。おかげで1学期の出席率は学校全体で99.3%でした。

県高校総合体育大会には、本校から7種目に133名参加しました。上位進出はできませんでしたが最後まで粘り強く戦いました。期待された野球部は、残念ながら初戦で敗退しました。情報メディア部は、長崎県情報処理競技大会団体準優勝でした。個人では山口愛美さんが4位に入賞したので、本校としては9年連続全国大会出場となりました。ボランティア同好会や吹奏楽部、彦岐荒海太鼓部は、様々な地域の行事やボランティア活動に参加して、地域貢献をしながら生徒自身が成長させていただいております。また今年9月から、全ての部活動を対象として部活動単位で霞翠小学校でのボランティア活動に参加。12月には、彦岐

市役所・彦岐振興局・長崎労働局彦岐出張所・彦岐市商工会の協力を得ながら「ふるさと商人体験学習」と銘打ったインターンシップ（就労体験学習）を1年生全員が5日間、島内の企業約50事業所で実施します。また1年生と2年生全員を対象とした島内企業説明会も計画をしています。

今後も地域の協力を得ながら彦岐の宝・日本の宝である生徒達に、日々の学校行事や部活動を通してふるさと彦岐の素晴らしさを体感してもらいたいと思います。

結びに、東京彦岐雪州会の皆様のご健勝とご活躍を祈念すると共に、彦岐商業高校へのご支援、ご協力を



関東修学旅行で販売実習
(彦岐商高関東同窓会にお世話になりました)

彦岐商業高校の在校生

	男子	女子	合計
1 学年	51	40	91
2 学年	54	56	110
3 学年	47	48	95
合 計	152	144	296

ふるさとクリーン作戦
(地域の清掃：辰の島にて)



いただきますことを心からお願ひ申し上げます。

1 壱岐出身者の団結力とふるさと愛を実感 3 地区壱岐の会が連携し壱岐の活性化に

福岡壱岐の会 会長 川崎 日出雄



東京壱岐 雪州会創立 100周年 誠におめでとうございます。改めて

て、壱岐出身者の団結力やふるさと壱岐を愛する気持ちの強さを実感するとともに、役員の皆様のご努力には敬意を表する次第でございます。

福岡壱岐の会は、歴史ある貴会に習い定期総会や賀詞交換会などを通して会員相互の親睦・交流を図り、壱岐市等との情報交換などを行ってまいりました。また、ホームページ、

フェイスブックを活用して定期総会やゴルフ大会、俳句愛好会の活動など当会の行事や壱岐市のイベントなどの情報発信にも力を入れるとともに壱岐の活性化への貢献策の一つとして、今年の10月には当会のゴルフコンペ、その後の懇親会も壱岐で行いました。

これからも、東京壱岐雪州会、東海壱岐の会、関西壱岐の会そして福岡壱岐の会が連携し活動することで、壱岐出身者等の輪が更に広がり、ふるさと壱岐の活性化に寄与していければと思います。

壱岐人会の歴史を築かれた先人は鏡

「関西」も会員の親睦と壱岐の発展に貢献

関西壱岐の会 会長 齊藤 肇



東京壱岐 雪州会の創立 100周年 立100周年 におめでとうございます。

関西壱岐の会会員一同と共に心からお祝い申し上げます。

遥か100年前の1917年（大正6年）、雪州会の先人たちはふるさと壱岐を出て、当時は遙か遠くの地であったろう、東京で「ふるさとをしのぶ会、若い後進達の育成指導激励する会」として発足されたものと推測いたします。当時としては大変なご苦労があったものと思われま

が、会員相互の親睦を深め、ふるさと壱岐の発展に貢献して来られ、誇らしい壱岐人会の歴史を築かれたことは私たちの鑑であります。またその志を引き継ぎ今日まで継承されて来られた貴会の歴代会長、役員はじめ会員の皆様に敬意を表します

100年続く雪州会は私達の手本 東海も故郷の交流人口拡大目指す

東海壱岐の会 会長 永田 強



東京壱岐 雪州会が100周年を迎えられました事からのお祝

いを申し上げます。百年も前に故郷の会を設立された先人に心からの感謝と敬意を表します。

とともに、これから先150年200年に向けて益々発展し継承されることを祈念申し上げます。私たち関西壱岐の会も東京壱岐雪州会を鑑として、会員相互の親睦と微力ですが壱岐市の発展に貢献できるように活動を続けてまいります。

会一同お喜びを申し上げます。若き日に青雲の志を胸に東京に出て夢を達成され各界に不滅の業績と知名を残された事は私達壱岐出身の後輩にとって道標で有り自慢です。私たち東海壱岐の会は発足から30

年にもなりません。東京壱岐雪州会に学びながらこれからも会の設立趣旨を大切にして故郷に貢献出来る活動を続けて参ります。テーマを交流人口の拡大として東海地区にある全都道府県の故郷の会の人達と出会いを大事にして交流を深めて壱岐のファンを増やしていきます。今後とも東京壱岐雪州の皆様のご指導ご鞭撻をお願いするとともに、貴会が故郷壱岐の発展に常に主導的役割を果たされますようにご期待します。

100年の歳月を引き継いでこられた歴代会長はじめ役員の方々にして会員の皆様に重ねて東海壱岐の

会一同お喜びを申し上げます。若き日に青雲の志を胸に東京に出て夢を達成され各界に不滅の業績と知名を残された事は私達壱岐出身の後輩にとって道標で有り自慢です。私たち東海壱岐の会は発足から30年にもなりません。東京壱岐雪州会に学びながらこれからも会の設立趣旨を大切にして故郷に貢献出来る活動を続けて参ります。テーマを交流人口の拡大として東海地区にある全都道府県の故郷の会の人達と出会いを大事にして交流を深めて壱岐のファンを増やしていきます。今後とも東京壱岐雪州の皆様のご指導ご鞭撻をお願いするとともに、貴会が故郷壱岐の発展に常に主導的役割を果たされますようにご期待します。

壹岐・対馬は歴史上重要な役割担う 今後力も合せ両島の発展に努力を

東京対馬会 会長 歌野 宏



東京壹岐
雪州会創立
100周年
おめでとう
ございます

中でもその存在は文化交流及び防衛に輝かしいものがございます。

この夏、私は大村空港より初めて壹岐へ立ち寄ってみました。そして壹岐対馬国立公園など2島共通の素晴らしい自然環境を誇らしく感じました。東京壹岐雪州会も東京対馬会も明治・大正・昭和・平成にわたり故郷の繁栄を願って活躍されて来た多数の先輩達がいらつしゃいます。

これから私達も両会力を合わせ協力して両島の発展に向けて努力していきたくと考えます。

結束力の強さと心意気に敬意 「歴史探訪」でまた壹岐に！

東京五島会 会長 又野 寛



東京壹岐
雪州会にお
かれました
は今年、創
立100周年
を迎えら

れた先人達の存在、現役員の皆様の活躍振りが察しられます。まさに壹岐人の心意気だと感じております。

また日頃より東京壹岐雪州会の会員の行動を拝見しますと結束力の強さには敬意を表する次第です。これからも東京壹岐雪州会には大いに郷土意識を高めていただき壹岐市と連携し各自の活躍がいつそう面目躍如たるものとなりますようご期待申

れましたこと、心よりお祝い申し上げます。ひと口に100年と申しませんが、それには様々な苦難の山あり、涙の川あり、それを乗り越えてこ

し上げます。

私は数年前、壹岐市を初めて訪問しました。玄海酒造さん主催のゴルフコンペに参加させていただいた時です。前夜祭は大いに盛り上がりました。残念ながらゴルフ当日は生憎の大雨に遭遇しましたが、それでも

全員無事にラウンド出来たこと、思い出の一節となりました。今度一度、ゆっくり歴史探訪など観光で壹岐に行きたいと考えております。何はともあれ100周年記念、改めておめでとうございます。

大切なモノやコトを護り続ける 壹岐人の強い意志で100周年

東京壹岐雪州会元副会長・聖母宮名誉宮司 吉野 弘一



戦後生まれ、団塊世代の私（長男）の宿命は、家とその業の後継

家に住むことになった。

とされた。高校まで壹岐で学んだ後、宿命達成の選択が待ち受けた。が、教職と神職の二兎を追うことになった。そして卒業後、長崎県教員となり家の業（聖母宮神職）は父の補佐（祿宜）に就いた。

教職は思いもよらぬことが待ち受けた。教師として3校21年（壹岐商業高校10年）務めた後、長崎県教委指導主事（4年）、文部省教科調査官（9年）、文部科学省視学官（4年）を

務め退職後、東京私学杉並学院中学高等学校長（9年）を終え、平成29年4月壹岐市へ転住、生まれ育った

雪州会では「生きがい」を何にするか考えた末、末永く続いた家を護ることを第一にした。勝本浦の家は、1592（文禄元）年豊臣秀吉の命を受け朝鮮出兵する平戸藩主に帯同し戦勝祈願・奉守護。その功で壹岐国惣大宮司兼社家支配役の許を得た吉野末秋から3代目、吉野尚忠が1671年（寛文11年）に現在の地に居を移したことに始まる。ここは、文禄の役で勝本浦に滞在した加藤清正公等の将校宿舎で、旗が立ち並び「旗揃舎」と呼ばれた。周りの石垣と裏山の石舞台は昔のまま、これらを護り際立たせていきたくと思う。

雪州会は壹岐人の強く尊い意志に支えられ100周年の節目を迎えられた。今後も関東壹岐人の宿命とされ末永く続くことを祈念します。

〈吉岐が輩出した偉人たち〉
 ～先人の気概と信念に学ぶ～

「吉岐 偉人列伝」



昭和6年牧山耕蔵代議士（勝本町出身）が海軍政務次官に就任され、その祝賀会が東京会館で催された時のもの。前列向かって右より6人目三富道臣氏（雪州会初代会長）、7人目松永安左工門先生（56歳）、8人目松浦伯爵、9人目牧山耕蔵代議士、1人おいて11人目眞鍋儀十代議士（40歳、この前年に衆議院議員に当選後に海軍参与官、運輸通信政務次官を歴任一現雪州会会長）、前列向かって右より2人目熊本利平氏など＝昭和9年暮頃から雪州会のためご尽力された松本貞則氏が保存されていたもの＝岡野みち子氏提供

私達の故郷・吉岐島から多くの偉人が輩出し、日本、或は海外で幅広く活躍している。東京吉岐雪州会100周年にちなんで先人の活躍を紹介し、若人が後に続くことを期待する。題して〈吉岐 偉人列伝〉（雪州会会長歴任者の松永安左工門翁・眞鍋儀十翁・松坂直美翁らは省略）雪州会会長略歴に紹介・敬称略）参考資料「吉岐の人物伝情報」など。

仏教の道を説き、弟子には伊藤博文公らも

竹田 黙雷（1854—1930）勝本町出身、僧侶

京都の大徳寺、建仁寺等で約40年間、管長職を務め、約4000人の弟子に仏教道について説いた。その弟子には伊藤博文公などもいたという。7歳で出家。15歳で福岡に渡り儒学者亀井南冥から漢字を学び、同じく近藤木軒に儒学を学ぶ。その後、約20年間、京都大徳寺、建仁寺、更には福岡、長崎のお寺に務め1880年宗淵に改め黙雷と称する。39歳で管長に任命され、仏教の発展に貢献。

朝鮮で大農場経営・教育の発展にも貢献

熊本 利平（1879—1968）石田町出身、実業家



江田和夫氏撮影

慶応大学に学ぶ。卒業後、24歳で朝鮮半島に渡り大規模農場経営で成功。「日本一の大地主」と言われた。大正末から昭和にかけて巨額の資産を投じて教育の充実にも尽力。教育指導法「ドルトン・プラン」の提唱者・米ヘレン・パークスト女史を吉岐に呼んで講演会を開いたり小学校校長を教育視察のために米国に派遣するなど熱心に取り組む。実業人と同時に教育者。

衆院議員8期務め長崎日日新聞社社長など歴任

牧山 耕蔵 (1882—1961) 勝本町出身、政治家

雪州会発足と同じ1917年に衆院議員に初当選。以来8期連続務めた。1936年にはハンガリーでの列国議会同盟会議の日本議員団長を務めた。戦後は公職追放に。政治家時代に「政界の秘話」を書いて話題に。早稲田大学政治経済学科卒業後、朝鮮に渡り、京城居留民団議員、朝鮮新聞社長など務める。長崎日日新聞社、佐世保新聞社社長など歴任。

前途有望な詩人…友人と共に犬吠埼で溺死

三富 朽葉 (1890—1917) 郷ノ浦町、詩人

父は雪州会の初代会長道臣翁。中学時代から詩人としての資質も高く1911年に早稲田大学を卒業すると「雨の唄」を始め名作を相次いで発表して注目される。しかし1917年千葉県犬吠埼の海岸で同じ詩人の友人を救助しようとして共に溺死。

柳田国男に師事し郷土史研究に没頭

山口 麻太郎 (1891—1987) 郷ノ浦町出身、郷土史家

1921年壱岐郡教育会主催の夏季講習で折口信夫の「民間伝承学」を聞き、柳田国男の民俗学に感銘して柳田に入門。松永安左エ門翁の支援を受けて壱岐郷土研究所を設立し郷土の資料収集・研究に取り組み。「壱岐島の方言集」「壱岐国史」などをまとめた。同氏の考古学に関する新聞論文が原の辻遺跡の存在を全国に広めたとされる。長崎通信伝生養成所を卒業し郷ノ浦郵便局、台湾総督府民政部通信局、市町村雑誌社に務めた。

日本吹奏学界の大御所…警視庁初代音楽隊長

山口 常光 (1894—1977) 勝本町出身、指揮者

戦後、1948年から約10年間、警視庁初代音楽隊長として有名。陸軍戸山学校音楽隊科に入学しクラリネットを学ぶ。東京外国語大学仏語科を卒業し1930年から仏独に留学し軍楽隊の演奏法や指揮法を学ぶ。帰国して戸山学校軍楽隊長を経て1943年軍学部で最高位の陸軍軍楽少佐となる。戦後はNHK吹奏楽団長も。1977年に勝本町に胸像を建立。壱岐高、壱岐商高等の校歌も作詞。胸像には「日本吹奏樂界の大御所と呼ばれた先生の偉業を称え胸像を建立する」とある。



山口常光翁の胸像 (岡野みち子氏提供)

戦前と戦後2回雪州会幹事長、九州耐火煉瓦社長も

椿原 常太郎 (1893—?) 芦辺町出身



1917年に中央大学専門部を卒業して松永翁が社長をされていた西部合同瓦斯(現西部瓦斯)に就職し、翌年には同じく松永翁が社長だった九州耐火煉瓦(現黒崎播磨)に転勤して後に社長を務めた。雪州会では松永翁の会長時代、戦前と戦後の2回にわたり幹事長を歴任し、同会の基礎固めに貢献。副会長、顧問も務める。書道を学び、高潔な人格だったという。「以和為尊」を座右の銘とした。(写真は「雪州会だより」創刊号から)

日本ツバキ協会会長など歴任

横山 三郎 (1910-1996) 石田町出身、ツバキ研究家

1981年から83年まで日本ツバキ協会の会長を務める。石田町出身で京都大学文学部哲学科を卒業して朝鮮に渡る。戦後に帰国し神奈川県座間市に広大な土地を求め、その一角に日本ツバキを始め世界各地から収集したツバキを8千〜1万本植樹して研究。ツバキに関する本も出している。東京沓岐雪州会の顧問などを歴任。その温厚で博識は寄る人を惹きつけてやまない。沓岐の歴史にも精通していた。



中央が横山氏、左が後藤、右が牧山両元会長

明治天皇御聖像や少弐資時公らの彫刻多数

小金丸 幾久 (1915-2003) 郷ノ浦町出身、彫刻家



馬上の雄姿 (沓崎市観光連盟提供)

明治天皇御聖像、天正遣欧少年使節 (大村市森公園)、少弐資時公像など多くの作品を残す。少弐資時公の馬上の雄姿像は元寇の役720年を記念して1997年に制作し沓崎市芦辺港に建立。沓岐島ホールに小金丸氏の作品を展示する「小金丸幾久記念館」も併設。温厚で気さくな人柄。東京大学建築学科講師も務めた。東京沓岐雪州会の役員など歴任。

世界的なイラストレーターとして活躍

長岡 秀星 (1936-2015) 長崎市出身、イラストレーター



長岡秀星氏 (柴山繁氏提供)

生まれは長崎市だが1945年長崎市から沓岐の郷ノ浦町に転向したため長崎の原爆を免れる。沼津中学・沓岐高校に学ぶ。高校3年の時、小学館の「中学生の友」の挿絵に採用。武蔵野美術学校に入学して直ぐ雑誌・出版物の仕事始める。1958年には武蔵野美術学校を退学して独立。1967年、大阪万博準備グループに参加。1970年に米国に移住しカーペンターズなどのコートジャケットを始めNASAのイラストなど世界的に活躍。NHKテレビなどで特集。つくば科学博では公式ポスターや政府出展館の制作も担当。また長崎県関連の観光ポスターや沓岐の蔵酒造の焼酎「沓岐っ娘」のラベルのイラストも。東京沓岐雪州会の理事も長く務めた。

独特の幽玄な画風・欧州に留学も

濱 英一 (1948-2016) 郷ノ浦町出身、画家



濱英二夫妻 (竹富鉄一氏提供)

濱氏の作品は独特の幽玄な水彩画で知られる。沓岐で作家活動をつづける傍ら東京や福岡など各地で個展も開催。裕子夫人は詩人。10数年前、文部省の派遣留学生として半年間欧州に留学し勉強しながらパリなど欧州の街並みや風景を描いた。留学の際は東京渡良会と東京沓岐雪州会の有志が壮行会を開いて前途を祝した。雪州会や渡良会の総会にもよく出席し、個性的な風貌で絵のこと、沓岐のことを熱く語ったのが印象に残る。

祝 雪州会100周年に寄せて

最初の総会出席は昭和27年
100周年に巡り会え光栄

東京沓岐雪州会理事 大久保 芳勝



先ずは1

名でした。

00周年お
めでとうご
ざいます。

これ程長

く続けてこ

られたのは、歴代会長さん始め役員、
会員、皆様のご尽力はもとより同郷
というだけで心を通じ合える繋がり
の賜です。

私が最初参加したのは昭和27年、
確か明治記念館だったように覚えて
います。会長は松永安左エ門翁、和
服にトンビを纏っておられました。
会員の方は立派な方々ばかり。名簿
を見ると父と同級生の方が何人かお
られました。私のような若造の来る
所ではないと思い、暫く疎遠に過ぎ
ました。

ご無沙汰過ぎた感もありました
が、沓州弁も聞きたくなり、再び参
加するようになったのは松坂直美会
長の時でした。この頃はまた時代も
変わり若い人が多くなっていました
た。同級生も関東に8人いました
昭和一ケタ属の個性なのか出席は2

高齢で元気な松永翁に驚く
沓岐の発展に全員で協力を

沓岐高東京同窓会会長 副島 清



昭和42年

に東京へ就
職、数年後
に初めての
雪州会へ会
社の先輩に

連れられて出席した。広い会場へ入
り大勢の方が楽しそうに歓談されて
いた事を覚えている。席は一番後ろ
の末席で沓岐の方が東京にはこんな
に沢山居るのかと驚いた。次に驚い
たのが松永安左エ門翁のお姿を拝見

先人の勇気と逞しさに
励まされて迎える今日

沓岐商高関東同窓会会長 高山 裕子



100年

前の沓岐と
東京は、本
当に遠かつ
たことと思
います。

我々の時代は松永安左エ門翁の時代
のその約半分です。

私が東京に出てきた昭和46年でも

した事だった。高齢であったが、元
気なお姿だったと記憶している。昭
和46年に亡くなられているので最後
の元気なお姿を拝見したと思うと感
概深い。

50年前に沓岐の産物を東京で見
事はなかった。何時の頃か沓岐焼酎
を飲み屋で見つけて強く感激した事
を覚えている。沓岐焼酎の拡販に雪
州会の皆さんが少しは貢献したので
は。また玄海酒造の綱引チームの
全国大会での活躍。雪州会会員の応
援もあり沓岐と東京が一体となつて
いる感じがする。沓岐の発展に雪州
会は継続した応援を続けたいと思
う。

博多から東京へは、特急に乗れば
良いけど、急行しかとれず、座席も
取れず、新聞紙を敷いて21時間かか
りました。今では考えられないくら
いです。到底100年を振り返るこ
となどできませんが、私と同じ沓岐
の島から出たのは同じです。先人の
知恵と勇気と逞しさに励まされなが
ら各人がそれぞれの道を歩き、今日
の日を迎えていることは、本当に素
晴らしいことだと感じます。

雪州会が100年続いたことは、
諸先輩がたゆまぬ努力を脈々と続け

ることができたことにあったと思います。先輩に感謝いたします。そこに雪州魂があったことも間違いないと思います。同郷であるからこそ分かること、共鳴できること、同郷であるがゆえの結びつきは有り難いものです。そして、今後も大事にすべきことと思います。

時代がどんどん変わり、ロボット戦略や情報伝達などは、なかなか先

新たな世紀への第一歩

東京雪州会監事 長嶋 文満



諸先輩たちのおかげで、これまで先人の努力にただただ感謝するのみです。新たな世紀の第一歩は私たちが受け継いでいかなければなりません。

「雪州会」は故郷を「雪州島」とする方々が同郷というそのことだけで集う団体です。多忙な日々を送られている現役の方々はなかなか故郷のことまで気に掛ける時間的なゆとりがないかと思われまます。でも年に一

読みが難しいですが、100年前も考え方そのものはそれほど変わらな

いとと思います。私たちは、その中に居ます。頑張つて次の100年、いや、先ず次の一年に向かいましよう。

雪州商高生たちも頑張つています。毎年、関東に修学旅行に来ています。雪州商高関東同窓会も今年で9年です。こちらにもご協力のほど、皆様よろしくお願い申し上げます。

度だけでも集まって故郷の訛りで語り合うのも良いものです。ぜひ一度だけでも参加されてみては如何でしょうか。

出身が同郷であるとのことだけでの集まりですので考え方も生き方も問いません。

これからは若い方々が連絡を取り合い参加していただければ幸いです。そのためには会の運営や雪州に関する情報発信などの共有にもさらなる知恵を絞っていく必要があります。

誰れもが参加しやすい歴史ある「東京雪州会」を皆で盛り上げていきたいと思います。

想いを重ねて この100年

東京雪州会幹事 村上 安弘



2年前、雪州会6代会長・松坂直美さんの映画を製作、監督した。この映画のモチーフ「故郷を思う人」「故郷から思う人」に気付かせてくれた曲がある「祈り」(作詞・作曲 葉月)だ。この曲は、僕が雪州から東京へ向かった日のことを思い出させてくれた。

「明日から東京に行っち、映画学校に入るけん」―布団袋の紐を締めながら、母に告げた。大学を辞めて3年、2度目の雪州からの旅立ちだった。郷ノ浦港からフェリーに乗った。見送りに来てくれた友人の誰かが船に投げ入れたライターを握りしめ、島を後にした。福岡空港から羽田へ、横浜駅から相鉄線に乗り換え西横浜駅に降りた。映画学校は東京ではなく横浜にあった。そして38年が過ぎた。

今年の2月に父の米寿を祝うため、雪州のホテルに兄弟とその子供

達が集まった。その席で僕は両親に「ありがとうございます」の他は何も喋ることができずに泣いた。その時、母が「この子はどこでもすぐ寝る子でね、いなくなつたと思つて大騒ぎしていたら布団部屋で寝ていてね」と話し始めた。その顔は、僕が38年前に雪州を出て行く時に見せた母の優しい顔だった。

「祈り」 作詞・作曲/葉月
瞳を閉じて 心に浮かぶ
あなたの顔 あなたの声
故郷あとに旅立つ僕を
涙見せずに手を振って

見送ってくれた人
今 どこで 何をしているだろう
ちゃんと笑顔でいるだろうか
遠くにいるも あなたのことに
忘れたことはない
(略)

松坂直美さんの映画を制作する中でいろんな方の故郷への思いを聞いた。中でも撮影の帰りに画家、濱英二さんをお見舞いした時は、「今日は気分が良いなあ」「雪州にはいろんな物語がありますからね」とベッドか

ら1時間以上も励まされていた。そんな雪州会会員の故郷への想いと故郷から出た人を思う人々の気持ち、映画「松坂直美の生涯」を完成へと導いてくれたのだ。

故郷を愛する全ての人に、この映画を見て欲しいと思います。そして、

沓岐出身者の心の拠り所 老若集う雪州会を目指す

東京沓岐雪州会幹事 白石 光男



雪州会は1917年に設立され、青雲の志をもって沓岐の島から上京した方々の心の拠り所の一つとして機能してきました。2017

年から東京沓岐雪州会の2世紀が始まります。最近、就職、進学で沓岐島から関東地域へ上京する人の流れが減っております。難しい面はありますが、沓岐関連の集まりが複数あります。まずは、東京沓岐雪州会をもち立てていただき、若い年代層から経験豊かな年代層までより広い年齢層が集まる会をめざしましょう。ネット社会の進化でどこでも情

先輩方が思いに想いを重ねて来た雪州会の100年を、これからも手渡し重ねて行けるふるさと会であって欲しいと思います。東京沓岐雪州会100周年おめでとうございませう。

(100周年記念実行委員長代理)

報は得られますが、今日、行くところの一つとして、永続する東京沓岐雪州会を作っていきます。10数年先にはリニア新幹線で東京と大阪が1時間で結ばれます。物理的な移動の制約がなくなりますから、東海沓岐の会、関西沓岐の会、福岡沓岐の会と連携して、21世紀は日本沓岐雪州会として世界に沓岐の島をアピールできるようになればよいなと思います。(株式会社リコジェ社長 郷ノ浦町出身)



住吉神社 (沓岐市観光連盟提供)

共に祝いできる嬉しさ 受継いだバトンを後輩に

徳成 昌子



東京沓岐雪州会が100周年を迎えられたこと、誠におめで

とうございます。

100年という長い間、会を支えてこられた会員の皆様、そして会を運営してこられた歴代役員の皆様に心から感謝し、共に祝いできることを嬉しく思います。

雪州会の時だけでなく、飲み会や食事会に誘って下さる先輩、沓岐から取り寄せた食材を囲む会を設けて下さる先輩、自宅で採れた野菜を届けて下さる先輩等、事あるごとに自身自身の体験談を色々話していただき、様々な分野で活躍されている先輩方との触れ合いは私にとってとても良い刺激になります。

また、沓岐の在校生が全国大会へ出場すると、皆で羽田空港や東京駅で出迎え、大会当日は会場に駆けつけ、まるで自分の子や孫が大いに出ているかのように力いっぱい

応援されています。

雪州会は、沓岐高校や沓岐商業高校の在校生を含め沓岐出身者を応援しながら沓岐を思う縁で繋がり、絆となつて現在があると思います。この先輩から受け継いだバトンをしっかり受けとめて、後輩へつないでいけるよう微力ながら会を盛り上げていきたいと思えます。

最後に、この会を開催していただいた先輩方に改めて心よりお礼を申し上げます。今後ともご指導よろしくお願い致します。

(100周年記念実行委員、石田町出身)



松永安左エ門記念館

100周年に立ち会え光栄 故郷や家族を思い出す集い

立石 和子



この度は雪州会が創立100周年を迎えられたことを、心より

お喜び申し上げます。諸先輩方の思いあふれる記念すべき100年の節目に雪州会と関わることが出来まして大変光栄に思います。

私が雪州会を知り参加を始めたのは今から17、8年前、すでに私の両親も志岐を出ていました。東京に出てきてがむしやらな10年が過ぎ、ふと立ち止まり自身を育てたもの思いを巡らせた時期でもありました。初めて参加した雪州会では、初めてお会いしたとか人見知りするとか思う暇がないほど諸先輩方に親しくまた温かく接していただき、嬉しい驚きに満ちていました。それはその後何度参加しても、初めての方に出会う度に今でも繰り返されています。今では懐かしい故郷や家族を感じられる貴重な存在が雪州会です。その雪州会をほんの少しお手伝い

させていただき、理事・役員・運営実行委員の方々のご苦労と献身・雪州会に対する情熱を身近で感じることが出来ました。遙か100年前、新生日本の担い手として上京された先人方が忍耐と努力で確固たる地位を築かれました。その先人方が同郷の絆で、続く後輩へ就業の道を開き、心通わせて協力し生活が向上するよう雪州会を創立されたとお聞きしました。自身の雪州会との出会いや諸先輩方の姿を通して、今も尚その精

妻もびっくり志岐での挨拶 人の繋がりで100周年！

東京志岐雪州会会員 江田 康嗣



今年の夏は妻を連れ帰省しました。3度目となりますが、志岐の自然を満喫し、人と人のつながりを感じる事ができました。

というのは、妻は人が会うたびに声をかけてくれることにびっくり「妻「知り合いなの？」となげかけ、私「近所の人だよ」というと、「誰にでも声かけるんだね、東京じゃあり

神が受け継がれていることを強く感じます。その温かさの一端でも今後初めて参加される方へ私も返していけたらと思っています。

そして更なる100年へ。志岐人の心と誇りを志岐在住の方々よりも強く持ち、雪州会の精神を継承し益々の発展と繁栄、そして皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。(100周年記念実行委員 勝本町出身)

得ない」と東京出身の彼女には不思議な光景だったようです。このような田舎ならではの環境がこの先も残っていてほしいなと感じました。

また、最近では東京にいても志岐の情報を目にすることが増えたような気がします。多くの人に遊びに来てもらい、志岐の良さ知っていただきたいです。

さて、雪州会も今回で100周年を迎えるということでこの会のすばらしさを感じております。先に述べた人と人のつながりを大切にしている志岐の先輩方の功績、努力があつて100周年があります。今後多くの方々に参加し、会のご繁栄を祈念いたします。(石田町出身)

江田 歯科 医院

院長 江田 和 夫

〒811-5214

長崎県志岐市石田町印通寺浦327-2

電話 0920-44-6946



江田デンタルクリニック

葛飾区 京成立石駅前

03-5875-7234

院長 江田 康嗣



雪州会100年の重みを実感 皆様のご協力に感謝を込めて

東京沓岐雪州会100周年記念実行委員長 牧山 康敏



東京沓岐雪州会は1917年から今年で100年の歴史を紡いできた。日々、一步一步の積み重ねで雪州会の伝統が築かれている。感慨ひとしおである。

多くの先人の高邁な志と行動力として郷土愛に改めて敬意を表し、それを後世に引き継ぐ責任の重さを痛感する。この100年の間に故郷は、日本は、そして世界は大きな激動に見舞われてきた。

悲惨な戦争、驚異的な科学技術の発達、更には気候変動という激変が、良きにつけ悪しきにつけ地球を覆ってきた。その波頭を乗り越えて私たちの雪州会は100年の風雪に耐えて発展拡大し、故郷沓岐との絆を大切に結束してきたのである。

私は100周年に当たり記念実行委員長の任を命じられた。1年以上にわたり年代各層の会員の皆さんや

故郷の方々の声を拝聴してきた。一言に集約するならば「故郷への愛着であり、雪州会への熱き思い」であると言えよう。同時に今後、若い人たちが如何にして雪州会に呼び込むかという切実な課題も浮き彫りになった。

各人の熱い思いや意見をどれだけ収斂できたか自信はない。今はただ忸怩たる思いが胸をよぎるばかりである。それでも記念総会に漕ぎつけることが出来たのも20人の実行委員や役員そして会員の皆さんのご尽力・ご協力の賜である。加えて沓岐市の多くの皆さん、更には長崎県下の東京地区代表者の方々のご協力を忘れることは出来ない。

改めて深甚なる感謝の気持を表したい。

100周年に当たり貴重な浄財を投じてのご寄付や、心のこもった土産物のご提供などを通じて100年の重みを実感する。

また機関誌《雪州会だより》は100周年記念号として編集した。会

員の皆さんを始め中村長崎県知事、白川沓岐市長、沓岐の各団体、各地区沓岐人会、更には長崎県人会関係者などから貴重で有意義な励ましや祝意をお寄せいただいた。

多くの方々から記念広告へのご協賛を得たことと併せて、私たちが会員一同は謙虚に真摯に感謝の気持を表す次第であります。有り難うございました。

東京沓岐雪州会は新たな2世紀に向けて第一歩を踏み出した。沓岐市の発展と会員相互の交流親睦を目的とする雪州会の趣旨を忘れることなく、有意義で楽しい集いを目指して前進したいと願う。
(東京沓岐雪州会名誉会長)



100周年記念実行委員会

「老櫓荘」は大きな池を有する広大な丘の上に建つ瀟洒な東屋風で、池田勇人首相や永野重雄（元日本商工会議所会頭）ら政財界の大物が松永翁を訪ねてきて会談したという。小田原市の職員が当時を彷彿させるように詳しく説明。一同感動。現在は小田原市が管理。



老櫓荘の庭園（大杉氏撮映）

2010年（平成22年）山内賢明雪州会会長（当時）が東京長崎県人クラブ理事長に就任

更に2014年（平成24年）には東京長崎県人会長にも就任。壱岐出身者の県人会長就任は松永安左エ門翁以来2人目。

2010年（平成22年）一支国博物館の開館（3月）記念に第2回壱岐ツアー実施

5月末に実施。会員のほか長崎県人クラブなど、在京各地域の人も含め30数人参加。壱岐見学や懇親会で盛況。島外からは殆どが初めての壱岐旅行で、島の自然や古代遺跡などに注目。



平成22年の第2回壱岐ツアー（竹富鉄一氏提供）

2012年（平成24年）会の名称を東京雪州会から「東京壱岐雪州会」に変更

創立以来「雪州会」の名称を続けてきたが、昭和50年代に各地区の壱岐人会がそれぞれの会の冠に「雪州会」をつけたいとの要望があり、これを

受けて東京も「東京雪州会」に変更。ただ東京雪州会ではどういう団体か、壱岐以外の人には理解できないため名称に「壱岐」を入れて壱岐関係の団体であることを鮮明にし、壱岐市のPRにも役立てることにした。雪州会95周年に実施。

2017年（平成29年）創立100周年の記念総会・式典

記念事業として壱岐の両高校生徒を対象に年間で最も活躍した生徒を表彰する「東京壱岐雪州会賞」を創設することを決定。また壱岐市立4中学校に幟旗各25本寄贈。デザインは各校の生徒に一任。総会に壱岐市から約100人が出席。また県下の各地区代表の皆さんも多数参加して総勢約400人の参加で盛大に開催、第2世紀への一歩を踏み出す。

九州郵船のジェットfoil 11月乗船分から全席指定に

九州郵船の博多・壱岐・対馬定期航路客船ジェットfoil(写真)の座席が11月乗船分から全席指定になることが決まった。壱岐新報の報道によると、九州郵船は乗船受付の新システム更新に合わせて11月1日から実施すると発表した。

同船の座席指定化については地元島民を始め東京壱岐雪州会でも数年前から壱岐市と東京壱岐雪州会や福岡、関西、東海の各壱岐人会との「壱岐市活性化会合」(雪州会総会前日に開催)でも意見が出され、その実現を壱岐市を通じて求めている経緯がある。

同紙の報道によると内容は①全席に指定番号を決める②1階前方の病人搬送用席10席、1階左舷前方と2階左舷前方の各優先席4席の計18席は指定不可③複数の予約では相席希望不可の場合もある④事前予約の際に座席指定しなかった場合は自動指定になる一など。

指定可能座席は2階100席のうち96席、1階157席のうち143席で計239席が予約席として指定できるという。電話やインターネット予約は乗船日1カ月前から前日の受付まで座席指定可能。一般団体、ツアー団体、教育旅行などは従来通り1年前からの予約受付が可能という。



壱岐市観光連盟提供

〈東京壱岐雪州会 この100年〉

1917年（大正6年）雪州会（現東京壱岐雪州会）設立
渡良出身の三富道臣翁が中心となり壱岐出身者の親睦を目的に設立した。三富氏が初代会長に就任。以後、松永安左エ門翁が第2代会長（終身）、1971年（昭和46年）眞鍋儀十翁が第3代会長就任。

1973年（昭和48年）機関誌「雪州会だより」創刊
眞鍋儀十翁が中心となり創刊した。儀十翁は〈発刊の辞〉で書いている。

～「古風な表現を用ゆるようだが、人ひとたび郷関を出ならば、富めば富むとて貧しきは貧しとて、誰か故郷に憶いを馳せざらん。古里は良きかなとは文人の詩情のみでは無い。等しく吾等の感傷でなくてはならぬ。

そこに想いを致した雪州会同人が、この会員の故郷を充たさんとして、ここに「雪州会だより」を編輯して、壱州人の香り高い生の消息をお贈りしようと企てたのがこの小誌である。欲も得も無い。気に召さねばお目こぼし、読み捨て勝手だが、これをひとつ会員相互の意思疎通に役立つように育成してやろうと云う覚悟召しが出たら、どしどし紙上参加に由って錦上更に花を添えて頂ければ幸せでまたそうであることを偏に期待して已まない。」～以下略（味わい深い言葉で、創刊の原点を見る思いがする = 現編集者）

2006年（平成18年）壱岐ツアーで壱岐市の小中学校「校長会」と意見交換

雪州会では本格的な壱岐ツアーを企画。島外者を含めて26人参加。校長会からは小中学校の校長中心に約30人参加。雪州会関係者の体験談を含めて討議・懇親会。その前には長田市長ら幹部とも意見交換。



壱岐校長会との合同写真（竹富寛氏提供）

2006年 壱岐市に第1回緑化寄付を実施（毎年20万円）

第1回は岳の辻に山桜を植樹。その後、石田町のみんなの広場に黒松と椿の木（各60本）、更に住

吉神社の境内に山桜60本植樹など2016年まで連続実施。

今年4月にも住吉神社の桜の下で「花見の会」も開かれた。



雪州会寄贈の山ざくらの壱岐園遊会 = 2017年、住吉神社で

2007年（平成19年）東京壱岐雪州会90周年記念総会
壱岐市からの参加を含めて総勢300人が出席。

2009年（平成21年）第1回「壱岐市活性化会合」開催（10月）

壱岐市の活性化に向けて壱岐市長、壱岐市観光連盟、壱岐市商工会などの会長や各地区壱岐の会会長、東京雪州会幹部との意見交換会「壱岐活性化会合」を総会前夜に実施して壱岐市の活性化など話し合う。その後も継続。（ただ今年には雪州会100周年総会で壱岐からの出席者も多くその対応のため中断）

2009年（平成21年）松永翁が戦後住んでいた小田原市の「老樗荘」見学（11月）

昭和21年に埼玉県から小田原市に移住して住んでいた松永翁の「老樗荘」の見学会。16人参加。



松永翁の「老樗荘」の見学（大杉一雄氏撮影）

1991年 平成3年	定期航路ジェットfoil（博多⇄壱岐⇄対馬）就航
1995年 平成7年	壱岐の麦焼酎がWTO（世界貿易機構）と国税庁から「地理的表示」の産地指定を受ける
1997年 平成9年	原の辻遺跡が国史跡指定される
2000年 平成12年	原の辻遺跡が国特別史跡に指定される
2004年 平成16年	郷ノ浦町・勝本町・芦辺町・石田町の4町が合併し壱岐市が誕生する（3月1日）。人口3万3千570人
2010年 平成22年	長崎県埋蔵文化財センター・壱岐市立一支国博物館オープン（3月14日）
2011年 平成23年	市内10中学校が規模適正化により郷ノ浦、勝本、芦辺、石田の4校に集約。4月6日に4校がそれぞれ開校式
2013年 平成25年	壱岐市観光連盟発足
2014年 平成26年	壱岐市市制施行10周年記念式典
2014年 平成26年	長崎がんばらんば国体：壱岐市内でソフトボール女子競技（成年女子）開催
2014年 平成26年	全国消防操法大会：ポンプ車の部で芦辺地区第一分団が優勝。壱岐市消防団として2大会連続優勝
2015年 平成27年	長崎県病院企業団「長崎県壱岐病院」が開院：従来の壱岐市民病院が新たなスタート
2015年 平成27年	三島小学校の統合：長島分校、原島分校との統合による新たな三島小学校がスタート
2015年 平成27年	文化庁による第1回「日本遺産」に認定：国境の島壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋として認定
2015年 平成27年	兵庫県朝来市と友好都市の提携
2015年 平成27年	福岡市・九州離島広域連携協議会発足：福岡市と直行便で結ばれている壱岐市・対馬市・五島市・新上五島市・屋久島町で構成される協議会
2016年 平成28年	有人国境離島新法が成立
2016年 平成28年	壱岐ウルトラマラソン2016 実施
2016年 平成28年	こころ医療福祉専門学校が開校：壱岐市初の専門学校で介護福祉士養成校
2017年 平成29年	有人国境離島新法が施行（4月）
2017年 平成29年	一般社団法人壱岐市ふるさと商社を設立
2017年 平成29年	壱岐しごとサポートセンター「IKI - Biz」オープン：産業新興、壱岐市活性化のため中小企業創業等支援

【旧4町の沿革】

- 郷ノ浦町 = 明治22年4月町村制施行により武生水村・渡良村・柳田村・志原村・初山村に。大正14年4月武生水村が町制を施行し武生水町となり、昭和30年2月町村合併促進法により1町5村が合併して郷ノ浦町となる。
- 勝本町 = 明治22年4月可須村と新城村が合併し香椎村となり、本宮村と立石村が合併し鯨伏村に。昭和10年香椎村は町制を施行し勝本町となり、昭和30年2月11日鯨伏村と合併し勝本町となる。
- 芦辺町 = 明治22年4月田河村、那賀村、箱崎村に。昭和22年11月田河村は町制を施行し田河町となり、昭和30年3月1日に田河町・那賀村が合併し芦辺町に。翌31年9月30日に箱崎村を編入。
- 石田町 = 明治18年石田・池田・筒城の3村が合併して石田村に。昭和33年郷ノ浦町より久喜触と、昭和36年芦辺町湯岳興触の一部・射手吉触を編入、昭和45年8月町制を施行し石田町となる。=「壱岐市 誕生までのあゆみ」より。



原の辻遺跡の発掘作業と人面石



平成13年 元寇720周年武者行列(芦辺町開町記念誌より)



平成16年 壱岐市誕生



平成26年 壱岐市消防団(芦辺地区)優勝



平成29年6月 壱岐で50年に1度の集中豪雨(勝本町)

近現代の壱岐の歩み

1868年 明治1年	壱岐島は壱岐郡13村と石田郡11村の2郡で構成
1881年 明治14年	壱岐の人口41,762人と記される。(長崎県史)
1885年 明治18年	石田村・筒城村・池田村3村合併し石田村誕生
1885年 明治18年	定期航路船(壱岐⇄長崎)就航
1894年 明治27年	定期航路船(壱岐⇄博多)就航
1896年 明治29年	壱岐郡と石田郡の2郡を合せて壱岐郡になる
1909年 明治42年	長崎県立猶興館中学校壱岐分校(現壱岐高)設置
1914年 大正3年	「電力の鬼」と呼ばれた松永安左エ門が壱岐電燈を設立(40基モーター1基で送電戸数1203戸)
1917年 大正6年	壱岐出身の詩人三富朽葉が千葉県犬吠埼で友人今井白楊と共に溺死する
1920年 大正9年	定期航路船(博多⇄壱岐⇄対馬)就航
1926年 大正15年	壱岐郡役所を廃止して長崎県壱岐支庁が設置される
1943年 昭和18年	熊本利平の支援により熊本記念講堂(後の石田国民学校講堂)完成
1950年 昭和25年	長崎県立壱岐高等学校勝本分校(現壱岐商高)設立
1950年 昭和25年	東亜考古学会が原の辻の発掘調査を開始
1957年 昭和32年	壱岐観光連盟が設立される
1959年 昭和34年	壱岐の歴史を紹介する壱岐郷土館が開館
1970年 昭和45年	定期航路船フェリー「壱岐」(呼子⇄印通寺)就航
1972年 昭和47年	福岡空港⇄壱岐空港間に飛行機(YS11)就航
1977年 昭和52年	不定期便(長崎空港⇄壱岐空港)就航
1977年 昭和52年	作家司馬遼太郎が「街道をゆく／壱岐・対馬の道」取材のため壱岐を訪れる
1983年 昭和58年	第8回全国消防操法大会(ポンプ車の部)で芦辺消防団が優勝
1987年 昭和62年	600年以上、神職だけで受け継がれてきた壱岐神楽が国の重要無形民俗文化財の指定を受ける

年表は壱岐市役所の提供資料と全面協力により作成したものです。



昭和30年代 干イカ風景勝本浦



昭和33年 八幡半島の風景



昭和40年代 魚網の手入れ(八幡浦)



昭和44年 平成天皇の皇太子時代壱岐ご訪問：勝本町



昭和47年 壱岐空港に一番機到着



昭和62年 春の嵐「春一番の塔」建立(郷ノ浦町)

沓岐高東京同窓会総会 母校生徒の活躍に感激

沓岐高東京同窓会会長 副島 清

平成29年6月11日に東京・芝の東京グランドホテルで第26回沓岐高東京同窓会総会を開催しました。出席者は約50名で沓岐高より山口千樹校長先生と同窓会会長の江田和夫様を来賓としてお迎えしました。校長先生からは沓岐高生徒の多岐にわたる



2017/06/11

活躍状況が熱く紹介され、出席の會員も感激した面持ち。

総会は28年度の本同窓会の活動状況と会計報告を行い満場一致で賛同を得ました。會員の方から最近の総会の出席者が低迷している。なんとかせねばと、以前に実施していた卒業年度ごとの幹事を指名して會員の総会出席を勧誘してはどうかとの提案があり、この提案について役員会で検討する事となりました。

総会後は懇親会となり江田会長の音頭で沓岐焼酎で乾杯、美味しい沓岐焼酎が大分回ってきたところでアトラクションへ。今回の出し物は沓岐の知識を試す〇×クイズで沓岐と沓岐高の話題の質問で全員が頭をひねる難題です。全部10問、正解すると歓喜の音が、間違えると落胆の叫びが会場を飛び交いました。他にもフラダンスとビンゴゲームが行われ、最後に校歌を全員で合唱して楽しく、懐かしい2時間の懇親会が終了しました。

「舞台の主役は私です」

賑やか沓岐商高関東同窓会

沓岐商高関東同窓会副会長 村井 有

沓岐商高関東同窓会は9月3日、品川区・五反田ホテルマイステイズで、第9回総会及び懇親会を催しました。2回卒から28回卒までの32名が集まりました。また、万谷東京沓岐雪州会会長を始め5名の来賓にご出席賜りました。



2017/09/03

殆どの人が1年ぶりの再会です。満面の笑顔で「元氣だったか」と、手を握り合ったり、抱き合ったりして喜びを交わす光景が見られました。

「舞台の主役は私です」コーナーでは全員がマイクを握ります。関東へ来てからの苦労談などが披露され、会場が沸きました。

吉野弘一氏の「沓岐からの近況報告」では、スライド写真を見ながら懐かしさのあまり、ウルウルする人もありました。その間、テールでは「盈科小学校って書けるか」「霞翠の方が難しいぞ」「盈科」という意味は何だ? 「分からない、知識にみちる、ということかな」「霞翠という意味は?」「先生から聞いたことがないな、みどりたなびくということかな」「鯨伏は?」「あの辺の入江に鯨を追い込んで捕ったことかな」などの懐古する会話が交わされました。一年後に正答を持ち寄ろうということになりました。

盛会のうちに終了時間を迎え、東京沓岐雪州会100周年記念総会での再会を約して散会となりました。

楽しい雰囲気を堪能 東京渡良会の総会

東京渡良会（山本紘子会長）は7月9日、東京・羽田の穴守稲荷神社で第63回総会及び懇親会を開催。会員を始め東京沓岐雪州会、関東初山会関係者や来賓含め60人が出席しました。来賓として山内賢明東京長崎県人会会長、万谷正東京沓岐雪州会会長、更に沓岐からふるさと渡良会の徳田佳武会長、渡良小学校の三根圭子校長先生たちにご出席いただきました。

冒頭、山本会長の挨拶に続いて総会議事では活動報告や決算報告を了承。来賓挨拶で徳田ふるさと渡良会会長は6月末から7月初めにかけての沓岐を襲った集中豪雨など故郷の近況を報告。三根校長は渡良小生徒など小学生の沓岐ジュニア陸上チームが8月に横浜で開かれる全国小学生陸上競技大会への出場を報告し応援を求めた。

雪州会の万谷会長は「雪州会は今年創立100周年になるので10月の記念総会には大勢の皆さんの参加を願います」と挨拶。

懇親会では山内玄海酒造会長から



傘寿・喜寿・還暦の記念品を受けて喜ぶ面々＝大杉一雄氏撮影

ご寄贈いただいた沓岐焼酎で乾杯した後、恒例の玉置慶子さんのマジックに見とれ、更には還暦、喜寿、傘寿を迎えた人達への記念品贈呈、福引抽選などで大いに盛り上がり、楽しい「ふるさと会」を堪能した1日でした。

（東京渡良会幹事長 高田英志）

沓岐 Jr 小学生陸上 全国大会で好記録！

今年度「日清食品カップ」第33回全国小学生陸上競技大会が8月19日（土）神奈川県日産スタジアムで行われた。この大会は日本陸上競技連盟の主催で、夏休み期間を利用して小学校高学年の児童を対象に陸上競技の基本技術の習得を目的とした競技大会。

沓岐ジュニアランナースは競技種目の中の男子4×100mRリレーで長崎県大会最終選考会に53秒82の成績で優勝し全国大会に臨んだ。当



準決勝で力走の沓岐チーム＝左奥

日は沓岐 Jr は岩本瑞生（霞翠6）、福原成揮（志原6）、立川聖（志原6）、竹下紘夢（渡良6）、吉川明輝（田河6）の選手のうち4名で出場。

沓岐から選手の保護者、学校の先



応援にも熱が入る

生方、関東在住の雪州会会員等大勢の応援のもと予選では組2位に入り準決勝に進んだ。準決勝では県予選時以上の52秒8の好記録を出したものの、出場組中6位となり健闘及ばず決勝には進めなかった。

（東京沓岐雪州会副会長 坂井伸州・写真は 大杉一雄氏撮影）

全国綱引大会 玄海酒造綱引C 決勝Tは初戦で惜敗

彦岐玄海酒造綱引クラブは平成29年3月5日、東京・駒沢オリンピック公園体育館で開かれた第37回全国綱引選手権予選リーグで5戦全勝の快進撃をみせたが、決勝トーナメントでは初戦で敗退し、念願のベスト8進出は来年以降に持ち越した。

同チームは今年で長崎県代表として23年連続出場の快記録を更新中。今回の活躍は今後に大きな期待を膨らませる実力を示した。予選の5戦全勝は圧巻で約80人の応援席は興奮



予選5戦全勝の健闘

と熱気に包まれ選手の健闘を称えた。

大会には都道府県代表を始め各ブロック推薦など強豪63チームが参加。玄海酒造クラブの決勝トーナメント進出は2年ぶり2回目だが、ベスト8の壁は今回も厚かった。

同クラブは西日本大会で準優勝し、今大会はシード権を得ての出場。予選での試合は5試合とも強豪相手に圧勝。最初は相手の出方を探り後半に一気に勝負を決める「横綱相撲」の力を見せつけた。決勝トーナメントでの初勝利は逃したもののベスト16は見事である。

玄海酒造の山内昭人社長は「今年筋トレなど練習も積んでいる」と語ったが、選手はその言葉を実証した。山内賢明会長も「選手は相手の様子を見て耐える持久力をつけている」と評価し「来年は必ずベスト8以上を目指す」と意気込む。更に米村誠晃監督も「チームの雰囲気も良いし来年こそは強い気持ちでベスト8に挑戦する」と意欲を示した。

競技終了後は応援団や選手一行60人が都心の目黒区・恵比寿で懇親し、選手の健闘を称えながら氣勢を上げ、来年への活躍に期待を込めた。

(東京彦岐雪州会 牧山康敏)

20回玄海酒造ゴルフ大会 千葉で80人参加し盛況

来年は4月に彦岐で開催

玄海酒造主催の第20回「むぎ焼酎 彦岐の会ゴルフコンペ」が7月7日、千葉県の「千葉カントリー倶楽部」川間コースで行われ、関東地区の酒販売業者や東京彦岐雪州会、長崎県人クラブ関係者ら80人が参加した。

大会では6月末から7月初めにかけて彦岐市を襲った50年に1度という記録的な集中豪雨被害に対し参加者の義援金が寄せられ、玄海酒造から彦岐市に届けた。

今回は20回記念大会ということで全体をA・B・Cの3組に分けてそれぞれの優勝者を決めた。競技を前に山内賢明同社会長は「この大会は殆ど雨が降らないので思い切ってプレーしていただきたい」と挨拶。

競技後の懇親会では山内昭人社長が日頃の協力に謝辞を述べ、彦岐焼酎で乾杯。来年の21回大会は地元彦岐で開催する意向で、4月の日程で調整中だそうです。

(牧山康敏・写真は玄海酒造提供)





海の幸満杯の大宴会

神秘的な島でリフレッシュ 7回目の壱岐社員旅行

ファウンテック

ファウンテック第7回、私が入社して2回目となる社員旅行。

博多港からジェットフォイルに乗り、郷ノ浦に到着すると壱岐の方々の温かい歓迎に出迎えられる、壱岐に

来たことを実感いたします。毎年お世話になっている かねや旅館様では、新鮮な魚介類に舌鼓を打ちました。

私が住んでいる栃木県には海がなく、壱岐の海産物と透き通った海が羨ましいです。

2日目の島内観光では、猿岩、男嶽神社、少貳公園、壱岐神社、などを回りました。

を回りました。

男嶽神社では、幾多もの猿像や、ご神体の近くではコンパスが狂うなど神秘的な光景でした。その後シーカヤックの体験をしました。透명한海の上をオールで漕ぐのほとても気持ち良かったです。

筒城浜でのバーベキューの後に電力の鬼と呼ばれた松永安左エ門記念館に行き、松永安左エ門翁が今の日本のエネルギー産業に大きく関わっていることを知り感銘を受けました。2泊3日と短い間でしたが、大自然あふれる壱岐で心身ともにリフレッシュでき



ました。来年の研修旅行も楽しみみです。

(技術部 山本泰志)

ハタ揚げに約60人参加

今年で56回目の長崎ハタ揚げ大会(東京都大田区の多摩川河川敷)が、今年も4月29日(祝)に開催されました。毎年恒例となったこのイベントも、長崎ビードロ会(長崎市人会)が「東京でも在京長崎市出身者が毎年ゴールデンウィークにハタ揚げを楽しもう」と始めたもので、今年の

参加者は全体で約2500人でした。東京壱岐雪州会から万谷会長以下60人の会員が参集しました。

昭和の日の晴天に恵まれる中、時おり虹もかかる春の空に、雪州会の風揚げ名人による壱岐の風も高く舞い揚げられました。会員は壱岐焼酎でメートルを上げて歓談し、飛び交う風を見上げ楽しいひと時を過ごしました。

(東京壱岐雪州会幹事 白石光男)

関東初山会の総会

11月19日に開催

関東初山会(長嶋文満会長)は今年度の総会・懇親会を11月19日(日)正午から東京・お茶の水の「ホテル聚楽」で開きます。初山会は毎年、この時期に開催しており、多数の参加を期待しています。

平成30年度 東京壺岐雪州会 役員一覧

[執行役員]

会 長	万谷 正	特別顧問	立石 公博
副 会 長	坂井 伸州	名誉会長	森谷 正規
同	久原 順一	同	山内 賢明
同	長峰 隆徳(幹事長兼務)	同	牧山 康敏
同	山田 義則	顧問	坂江 博見
同	長田 玲子(会計)	同	大杉 一雄
副 幹 事 長	篠崎 方哉	同	柴山 繁
会 計	副島 清	同	竹富 鉄一
監 事	下条 司	同	蔵方 肇
同	長嶋 文満	同	山口 永人
幹 事	村上 安弘	同	前田 太郎
同	白石 光男	同	山本 紘子
同	立石 義昭		

(以上 執行役員)

[理事](50音順)

清川 繁武	殿川 茂	前田 茂喜
浅井 恵子	*桑田美智雄	宮坂 忠孝
市山 恵一	後藤 圭司	深山 祐助
岩崎 和弘	齋藤 宗範	村井 有
浦富 文夫	下條 昭二	森山 実
*江口 久義	住田 琢彌	山口 義行
大久保文人	高田 英志	山田 節一
大久保寿雄	高山 裕子	横山 登
大久保正孝	竹下 正興	横山 致和
大久保芳勝	竹嶋 商	米光 信博
*岡田 孝敏	田中 忠義	*印は新任
川元 忠和	土谷 厚巳	
神田 仁	寺田 政輝	
京崎 昇	徳永 光子	
	富田 秀正	
	豊永 正臣	
	長嶋 一雄	
	永田 美徳	
	永本 繁	
	野本 一夫	
	野本政次郎	
	野元 宗敏	
	原田和加大	
	馬場喜代治	
	日高 克也	
	平岡 仁江	
	堀江 輝男	

東京壱岐雪州会 平成29年度の主な活動

(平成28年10月～29年10月)

○壱岐市活性化会合（平成28年10月22日、芝浦：クオン）＝壱岐から山本県議、久保田教育長、長嶋立身壱岐市観光連盟会長らを始め各地区壱岐の会会長、東京壱岐雪州会幹部が出席。壱岐市の交流人口拡大など活性化問題について討議。

○平成28年度・99回東京壱岐雪州会総会（同10月23日、霞が関ビルの東海大学校友クラブ）＝壱岐から久保田教育長ら20人余が出席。全体では210人が参加し盛大に開催。古川貞二郎元官房副長官も出席し挨拶（写真）。福引抽選会等で賑わう。



○全日本綱引選手権大会（29年3月5日、駒沢オリンピック公園体育館）＝壱岐玄海酒造綱引クラブが県代表として23年連続出場。予選では5戦全勝するも決勝トーナメントでは初戦敗退で8強ならず。雪州会、長崎県人クラブ等から約80人が応援。



○雪州会役員懇談会（3月22日、芝浦：クオン）＝名誉会長、顧問、執行役員ら16人参加。雪州会100周年記念総会への対応など協議し懇談。

○長崎ハタ揚げ大会（4月29日、大田区の大摩川緑地区民広場）＝雪州会から約60人参加。壱岐焼酎で乾杯し賑わう。長崎市の蛇踊りも参加。



○雪州会上期理事会（6月5日、芝の東京グランドホテル）＝上期の活動・収支報告や雪州会創立100周年に備えて実行委員会から具体的な実行計画案など報告。

○壱岐高東京同窓会総会（6月11日、東京グランドホテル）＝母校から山口千樹校長と江田和夫同窓

会長が出席。全体で50人が出席し会員増などについても意見交換。懇親会はフラダンスやビンゴゲームで和やかに。



○東京渡良会総会（7月9日、羽田：穴守稲荷神社）＝雪州会や関東初山会などからも含め60人参加。壱岐から徳田ふるさと渡良会長や三根渡良小学校長も出席。恒例の玉置慶子さんのマジックや抽選会で盛況。



○壱岐商高関東同窓会（9月3日、西五反田のホテル）＝来賓含め35人出席。壱岐に帰った吉野弘一さんがビデオで勝本港沖の辰の島の魅力を紹介。恒例の1分間自己紹介スピーチなどで盛り上がる。



○雪州会秋季理事会（10月4日、東京グランドホテル）＝平成29年度活動・収支報告に続き雪州会100周年記念総会についての取り組みなど具体的に説明し協力を要請。

○東京壱岐雪州会創立100周年記念総会（10月29日、新宿の「ハイアット・リーゼンシー東京」）＝壱岐市から約100人の参加を始め各地区壱岐人会から約20人、県下各地域の代表ら全体で約400人が参加し100周年を祝った。相撲甚句の披露などで大盛況。100周年にちなんで功労者の表彰も行った。

*雪州会では執行役員会や幹部打ち合わせなどを頻繁に行っている。特に今年は100周年記念事業で、実行委員会も全体会議や幹部会、執行役員会との合同会議で具体策のまとめに取り組んだ。

雪州会100周年を祝します

東邦音楽大学・東邦音楽短期大学
声楽教授二期会会員(テノール)
入試広報企画センター長

市山 恵一 (郷ノ浦町)

東京都西東京市住吉町
四一―二一―一
カ1ザ・サブ三階

☎080―6596―5221

東京対馬会
幹事長

糸瀬 敬一 (対馬市)

東京都大田区大森中二六―六
☎&☎03―3762―6565

三起測器販売(株)
代表取締役

岩崎 和弘 (郷ノ浦町)

東京都世田谷区上祖師谷
二一七―一五

☎03―3308―6151

(株)ジャパンフォトニクス
代表取締役
東京江迎会 会長

上野 實 (佐世保市)

神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘
三一―一九―四〇三

☎044―988―7106
☎044―988―8029

関東初山会 顧問
前東京雪州会 理事

浦瀬 博之 (郷ノ浦町)

神奈川県藤沢市下土棚三六九―二
☎0466―44―8810

東京雪州会 理事

浦富 文夫 (勝本町)

東京都足立区谷中
三一〇―一―五〇九

☎&☎03―3629―0297

東京柏葉会
県立佐世保南高東京同窓会
会長

浦松 敏和 (佐世保市)

埼玉県入間市野田三三八―七
☎&☎04―2932―4548

猶興館東京同窓会
会長

大石 郁夫 (平戸市)

事務所 東京都八王子市四谷町
六一―三五―B五〇三

☎042―627―3190

東京雪州会 理事

大久保 文人 (勝本町)

神奈川県厚木市相模ヶ丘
五一―三一―九

☎0427―45―1856

東京雪州会 理事

大久保 正孝 (音辺町)

さいたま市大宮区天沼町
一―三五―六一

☎090―2721―5570

東京雪州会 理事

大久保 壽雄 (郷ノ浦町)

埼玉県上尾市小敷谷九一九―二一

☎080―1050―9235

東京雪州会 理事

大久保 芳勝 (郷ノ浦町)

埼玉県清瀬市松山三一六―一

☎0424―92―0148

東京雪州会 顧問
東京渡良会 顧問

大杉 一雄 (郷ノ浦町)

千葉県浦安市今川
四一―二一―三一二

☎090―2744―0728

多賀商會
代表

大淵 斉 (音辺町)

東京都品川区八潮
五一―〇一―五六―一五〇四

☎090―1258―7181

朝日生命保険相互会社
東京統括本部 東京営業所
東京雪州会 副会長

長田 玲子 (郷ノ浦町)

東京都千代田区大手町二一六―一

☎090―3009―0117
☎03―3273―7776

東京雪州会 理事

川元 忠和 (音辺町)

千葉県花見川区花見川
六一―一―一〇四

☎043―258―5150

大京不動産
代表者

東京雪州会 理事

京崎 昇 (音辺町)

埼玉県戸田市新曾一―三―一

☎090―3008―7967
☎048―4445―6243

東京雪州会 顧問
東京渡良会 顧問

蔵方 肇 (郷ノ浦町)

東京都大田区羽田三一九―三

☎03―3741―3534

東京雪州会 元役員

小西 誠 (勝本町)

東京都東村山市秋津町四一―五―七〇

☎042―394―7685

(株)タックス・ゲート
代表取締役

小柳 哲啓 (長崎市)

東京都千代田区岩本町

☎070―6479―6621
☎03―5823―6536

東京雪州会 理事

齋藤 宗範 (石田町)

東京雪州会 副会長

坂井 仲州 (郷ノ浦町)

東京都大田区大森本町
一―六―二―二二二

☎090―7808―0320

(株)フアウンテック
総務部長
東京雪州会 副幹事長

篠崎 方哉 (音辺町)

東京都千代田区丸の内三三―一

☎03―5218―8291
☎03―3214―8091

長崎県産業振興財団
センター長
東京企業誘致センター

篠崎 靖 (音辺町)

東京都千代田区平河町二一六―三

☎03―5212―9182
☎03―5212―5131

産業用メカニク電気制御・
設計・製作・施工
昭(あきら)理装工業
専務

下条 司 (勝本町)

東京都渋谷区渋谷一―三―一一

☎03―3407―1171
☎03―3407―7854

楽譜制作64年
お手持ちの「楽譜」を制作します
(株)ホツタカク
代表取締役社長

下條 昭二 (勝本町)

東京都新宿区大久保二丁目二番二階
新和ビル三階
☎03-3202-1166
☎03-3207-0364

(株)リコジエ
代表取締役社長

白石 光男 (郷ノ浦町)

茨城県牛久市田宮

東京雪州会 会計担当
雪州会 会長

副島 清 (郷ノ浦町)

埼玉県東松山市小松原町二丁目二番
☎080-1106-4948

東京雪州会 理事
代表取締役

高田 英志 (郷ノ浦町)

千葉県我孫子市泉
三丁目一〇番一
☎04-7139-3862

東京雪州会 理事
代表取締役

竹嶋 商 (郷ノ浦町)

東京都渋谷区東
三丁目五番四一七〇二
☎080-8907-8846

東京雪州会 顧問
代表取締役

竹富 鉄一 (郷ノ浦町)

神奈川県横浜須賀野市南藤取
二丁目九番一
☎046-869-1567

東京雪州会 会員
代表取締役

竹藤 良臣 (郷ノ浦町)

栃木県大田原市市野沢四〇九一三二
☎0287-23-6842

教文出版(株)
代表取締役

立石 公博 (郷ノ浦町)

東京都中央区八重洲
二丁目一〇番五二〇一
☎03-3517-5611

(株)アサヒ企画
代表取締役
東京雪州会 幹事

立石 義昭 (晋辺町)

埼玉県新座市東北二丁目四〇一六
ラ・ヴィイタ志木
☎048-423-3722
☎048-423-3723

関西雪州の会
名誉会長
代表取締役

立石 英隆 (勝本町)

京都市左京区下鴨半木町一〇一七
☎075-724-5253

五大テック(株)
営業部長
代表取締役

後藤 圭司 (晋辺町)

東京都千代田区神田小川町二丁目一三
中村ビル五階
☎03-3233-4577
☎03-3233-5677

玉木公認会計士事務所
代表
公認会計士・税理士

玉木 國隆 (鎌草市)

東京都調布市布田一丁目四〇一三
佐藤ビル五階
☎042-487-6441
☎042-487-6267

雪州会ソフトボール協会 会長
ふるさと渡良会 会長

徳田 佳武 (郷ノ浦町)

長崎県雪州会郷ノ浦町渡良東触
☎080-1709-4922

東京雪州会 理事
代表取締役

徳永 光子 (勝本町)

神奈川県海老名市中新田一丁目一四
A一六〇八

東京雪州会 理事
代表取締役

殿川 茂 (勝本町)

神奈川県横浜市旭区中沢
一丁目二六
☎045-391-5352

東京雪州会 理事
雪州会 幹事
代表取締役

富田 秀正 (郷ノ浦町)

川口市南鳩ヶ谷五丁目一六二

東京雪州会 監事
関東初山会 会長

長嶋 文満 (郷ノ浦町)

千葉県美浜区高浜
四丁目一〇番二〇四
☎090-3583-4917

関東西海市会事務局長
(有)SPACE ART
代表

永田 昌利 (西海市)

東京都新宿区高田馬場一丁目二四一四
加藤ビル五〇一
☎080-339-7265
☎03-5272-9303

(株)長峰マネジメントオフィス
代表取締役
東京雪州会 副会長

長峰 隆徳 (石田町)

東京都世田谷区等々力三六一一三
アコリ等々力五〇三
☎090-3200-3533
☎03-6805-9381

(有)双栄
会長
東京雪州会 理事

永本 繁 (晋辺町)

横浜市港南区日野八丁目三〇一二八
☎090-3230-7515
☎045-844-5411

東京柏葉会
長崎県立佐世保南高等学校
東京同窓会 副会長
代表取締役

中山 芳克 (佐世保市)

さいたま市見沼区春野一丁目九一三
五〇二
☎090-6122-8863

東京雪州会 理事
代表取締役

野元 宗敏 (郷ノ浦町)

東京都文京区関口一丁目一〇一
☎03-3235-0351

草加松原・草加宿刀イド
東京雪州会 理事
代表取締役

野本 一夫 (晋辺町)

埼玉県草加市西町二丁目五九一〇
☎090-4126-1375

東京雪州会 理事
(株)アシスト(不動産全般)
代表取締役

野本 政次郎 (晋辺町)

東京都中野区中野二丁目一八一五
☎03-5328-8288
☎03-5328-8280

東京雪州会 理事
雪州会 副会長
代表取締役

原田 和加太 (郷ノ浦町)

東京都江東区猿江二丁目三十一一七
エルブレイス住吉四一四号
☎080-3401-9004

雪州会100周年を祝します

次ページに続く

雪州会100周年を祝します

東京雪州会 副会長
 雪州会東京同窓会 名誉会長
 東京港湾運送事業協同組合 顧問
久原 順一 (郷ノ浦町)
 神奈川県川崎市高津区子母口
 五四一―一四
 ☎044-798-2348

東京雪州会 理事
平岡 仁江 (音辺町)
 東京都大田区南雪谷四―三―九
 ☎03-3726-9641

長崎県人クラブ 理事
平松 勲 (平戸市)
 東京都江東区大島
 四一―一六―六五四
 ☎03-3685-8918

長崎県人会事務局長
 長崎ビルド口会長
 長崎県人クラブ常務理事
藤島 万年 (長崎市)
 東京都板橋区大谷口一―五二―九
 ☎080-9971-4972

東京雪州会 理事
堀江 輝男 (石田町)
 千葉県市川市塩焼四―一〇―二

(株)フアウンテック
 取締役 栃木工場長
 東京雪州会 理事
前田 茂喜 (音辺町)
 栃木県鹿沼市茂呂七七八―一
 ☎0289-77-7899
 ☎0289-77-7893

東京雪州会 顧問
 東京渡良会 顧問
前田 太郎 (郷ノ浦町)
 東京都町田市常盤町三六―六―二六
 ☎090-3102-4024

経済ジャーナリスト
 長崎県人クラブ常務理事
 東京雪州会 名誉会長
牧山 康敏 (音辺町)
 東京都調布市小島町三―七九―一
 ライオンズM二〇五
 ☎080-2551-3711
 ☎042-486-4706

五島屋商事(株)
 取締役会長
 東京五島会 会長
又野 寛 (五島市)
 東京都中央区京橋一―一四―九
 依田忠ビル
 ☎03-3563-6019
 ☎03-3563-6018

猶興館東京同窓会
 副会長
松田 邦郎 (平戸市)
 埼玉県飯能市美杉台四―二―一
 ☎042-973-6604

M&Tコンサルタント
 代表
 長崎県人クラブ 常務理事
松山 政義 (長崎市)
 東京都町田市南大谷五〇八―一―六
 ☎042-727-1463
 ☎042-727-1463

(株)フアウンテック
 取締役営業部長
万谷 崇仁 (東京都)
 東京都千代田区丸の内三―三―一
 新東京ビル
 ☎03-5218-8291
 ☎03-3214-8091

(株)フアウンテック
 代表取締役
 東京雪州会 会長
万谷 正 (音辺町)
 東京都千代田区丸の内三―三―一
 新東京ビル
 ☎03-5218-8291
 ☎03-3214-8091

(有)三浦水産
 代表取締役
三浦 静夫 (音辺町)
 静岡県伊東市新井二―二―九
 ☎0557-36-8817
 ☎0557-36-9673

住宅安全整備
 代表
 東京雪州会 理事
宮坂 忠孝 (音辺町)
 神奈川県茅ヶ崎市円蔵二〇七八
 ☎080-1211-6005
 ☎0467-84-8255

(株)キャバレット(映像制作)
 代表
 東京雪州会 幹事
村上 安弘 (郷ノ浦町)
 東京都調布市染地
 二―三―一〇―四〇五
 ☎042-446-0975
 ☎042-446-0976

県立平戸高東京同窓会
 会長
森 和十郎 (平戸市)
 神奈川県川崎市麻生区多摩美
 一―二四―五
 ☎044-951-0432

放送大学名誉教授
 技術・産業評論家
 東京雪州会 名誉会長
森谷 正規 (石田町)
 神奈川県鎌倉市十二所九六七―五八

玄海酒造(株)
 取締役会長
 東京長崎県人会 会長
 長崎県人クラブ 理事長
山内 賢明 (郷ノ浦町)
 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触
 五五〇―一
 ☎0920-47-0211
 ☎0920-47-0211

東京雪州会 顧問
山口 永人 (石田町)
 埼玉県川越市四都野台八―四
 ☎090-2650-4334

元長崎県議会議員
山口 壮三 (郷ノ浦町)
 長崎県壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦
 一―二―一八二
 ☎0920-47-0250

東京雪州会 理事
山口 義行 (郷ノ浦町)
 神奈川県横浜市緑区北八朔町
 一九三八―二〇六
 ☎090-5422-2781

東京雪州会 理事
山田 節一 (郷ノ浦町)
 神奈川県川崎市幸区古市場
 一―七―五
 ☎044-511-8516

東京雪州会 副会長
山田 義則 (音辺町)
 東京都杉並区井草二―二八―一二
 ☎090-8856-7425

(株)三匠
 会長
山本 絃子 (郷ノ浦町)
 東京都杉並区和田三―一六〇―一
 ☎03-3313-1121

雪州会100周年を祝します

東京沓岐雪州会 理事
米光 信博 (郷ノ浦町)
 神奈川県鎌倉市城廻一〇〇一七〇
 ☎0467-4311926

東京沓岐雪州会 理事
日高 克也 (郷ノ浦町)
 東京都町田市鶴川
 ☎042-735-10501

東部重工業
 会長兼社長
 長崎県人クラブ 常務理事
吉田 牧男 (佐世保市)
 千葉県浦安市四一二二二〇
 ☎047-352-15311
 ☎047-352-15341

歌野内科クリニック
 院長
 東京対馬会 会長
歌野 宏 (対馬市)
 医院・埼玉県狭山市南人曾
 ☎042-958-8148

(株)三城洋行
 代表取締役
 東京沓岐雪州会 理事
横山 登 (郷ノ浦町)
 東京都府中市押立町一六八一四
 ☎042-307-3783

東京沓岐雪州会 理事
豊永 正臣 (郷ノ浦町)
 東京都渋谷区代々木五-六七一
 ☎03-3465-17500

東京沓岐雪州会 理事
横山 致和 (郷ノ浦町)
 横浜市港南区野庭町
 ☎045-841-1167

東京沓岐雪州会 理事
 関東初山会 顧問
長嶋 一雄 (郷ノ浦町)
 横須賀市二葉二二二二

東京対馬会 副会長
 長崎県人クラブ 理事
柿原 治美 (対馬市)
 東京都国分寺市泉町
 ☎042-320-3638

(株)アキラ
 代表取締役
 東京沓岐雪州会 顧問
柴山 繁 (郷ノ浦町)
 東京都新宿区新宿一三四一二
 ☎03-3350-5722
 ☎03-3350-5547

<沓岐の観光スポット>訪ねて



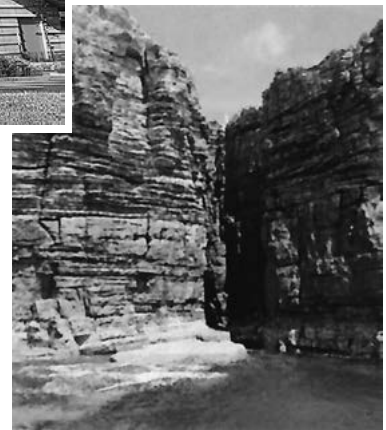
一支国博物館：開館以来の入館者80万人突破
 世界的な建築家・黒川紀章最後のデザインによる建物。沓岐市活性化の起爆剤として期待され、2010年3月開館以来の入館者数は今年10月で80万人を突破。館内では歴史的な埋蔵品が展示されているほか各種イベントも開催され人気。
 (写真は一支国博物館提供)



小島神社
 「沓岐のモンサンミッシェル」として人気急上昇。干潮の時は歩いて島に渡れるのも魅力。(写真は沓岐市観光連盟提供)



はらほげ地蔵
 八幡浦の海中に祀られている6つの地蔵。いずれも腹部が丸く空いて(ほげて)いる不思議な地蔵さん。名前の由来でもある。(写真は沓岐市観光連盟提供)



辰の島の蛇ヶ谷
 勝本湾に浮かぶ島。海水浴場としても知られるが、その反対側の絶壁は雄大。波に浸食された断崖は歴史を示して圧巻。海面からの高さ約50m。



沓岐風土記の丘
 江戸時代中期の沓岐の民家を移築し、生活用品・農具などの民俗資料や沓岐で出土した1500年前の考古資料も。近くには6～7世紀に築造された掛木古墳もある。「くり抜き式家計石棺」を持つ古墳として知られる。
 (写真は沓岐市観光連盟提供)

壱岐の4中学校に「のぼり旗」100本

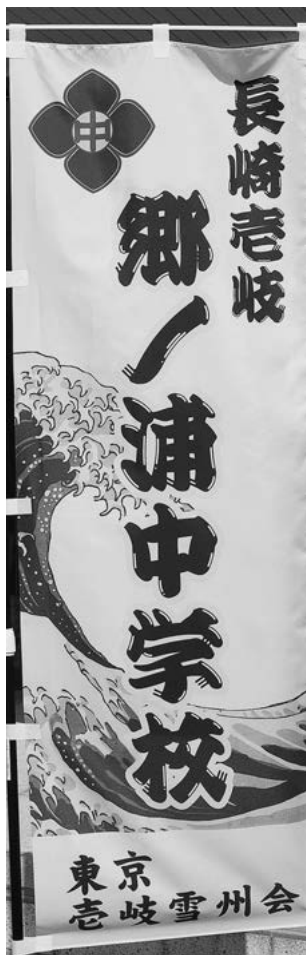
雪州会が100周年記念で寄贈 デザインは生徒の自主制作で

東京壱岐雪州会は100周年記念事業の一環として壱岐市立4中学校にそれぞれ25本、計100本の「のぼり旗」を寄贈しました。各校の体育祭や市の中体連など各種イベントに活用し、各中学のアイデンティティを示してほしいとの思いからです。

基本的には各校の生徒による自主デザインに任せることにしました。各校長からは雪州会の創立100周年への祝意が寄せられると共に、壱岐の母校に対する「のぼり旗」の寄贈に感謝の気持ちが伝えられました。

また10月5日に開催された壱岐市中体連駅伝大会において「一斉にお披露目された」とのことです。雪州会100周年記念総会の席上でも4校長から壇上でそれぞれの「旗」を披露。この寄贈に当たっては壱岐市の久保田良和教育長にもご協力いただきました。(牧山康敏)

郷ノ浦中学校の旗



郷ノ浦中学校
校長：植村 英生
生徒数：283人

勝本中学校の旗



勝本中学校
校長：坂口 彰一
生徒数：146人

芦辺中学校の旗



芦辺中学校
校長：豊坂 敏博
生徒数：191人

石田中学校の旗



石田中学校
校長：後藤 久志
生徒数：149人

(いずれも 2017年9月30日現在)

＜東京壱岐雪州会会則＞

第1条 本会の名称は東京壱岐雪州会とする。

第2条 本会会員は東京及び首都圏近郊に在住する壱岐出身者ならびに壱岐に関係ある者で第3条に定める本会の趣旨に賛同する者とする。

第3条 本会は会員の親睦・交流を図り、その発展に資することを目的とし、併せて郷土壱岐の発展に寄与するものとする。その目的達成に必要な活動を行う。

第4条 本会に下記の役員をおく。

会長（1名）・副会長（若干名）・幹事長（1名）・副幹事長（1名）・会計（2名）・監事（2名）・幹事（若干名）・及び名誉会長・特別顧問・顧問（各若干名）・理事（数十名）

第5条

1. 本会は会長、副会長、幹事長、副幹事長、会計、監事及び幹事により会務執行機関としての執行役員会を構成する。
2. 執行役員、名誉会長、特別顧問、顧問及び理事により理事会を構成し、理事会に総会の議決権を付与する。理事会は全役員の過半数（委任状含む）の出席をもって成立し、その議決は出席者の過半数により有効とする。
3. 次期役員は執行役員会で推薦し、理事会の承認を得て定時総会で報告する。
4. 本会の活動方針及び収支報告・収支計画は執行役員会で作成し、理事会の承認を得て定時総会で報告する。

第6条

1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
3. 名誉会長、特別顧問、顧問及び理事は本会の重要事案につき、会長の諮問に応えるものとする。
4. 幹事長は本会の円滑な運営を図るため会務を処理する。
5. 副幹事長は幹事長を補佐する。
6. 会計は本会の会計を司る。
7. 監事は本会の会計を監査する。
8. 幹事は幹事長、副幹事長と共に会の円滑な運営に努める。

第7条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。但し、会長の任期は最長4年とする。補充役員任期は前任者の残任期間とする。

第8条 本会は毎年定時総会ならびに理事会を開く。但し、会長が必要と認める時はその都度、臨時理事会を招集できる。

第9条

1. 本会の運営費は定時総会会費、寄付金、役員協賛金、その他の収入をもってこれに充てる。協賛金の拠出については別途定める。
2. 本会の会計年度は10月1日から翌年9月30日までとする。

第10条 会員はその住所、姓名を変更した時は必ず本会に通知するものとする。

施行：昭28. 5. 29

改正：昭41. 11. 17 昭48. 11. 9 昭54. 12. 2 昭57. 11. 28 昭62. 11. 15 平12. 11. 5 平15. 10. 26 平15. 10. 26 平16. 10. 6 平24. 6. 8 平26. 10. 6

東京壱岐雪州会の創立 100 周年を 心からお喜び申し上げます。

壱岐高校は、2年後の平成31年（2019年）に創立110周年を迎えることから、平成31年11月2日（土）に記念式典及び祝賀会の開催を予定しております。近まりましたら正式なご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。

長崎県立壱岐高等学校 同窓会長 江田和夫 校長 山口千樹

◎壱岐高校「東アジア歴史・中国語コース」生徒募集中！

壱岐高校には「離島留学制度」があり、全国から入学生を広く募集しています。

本コースでは、歴史学・中国語を専門的に学ぶことができ、全国的な大会で優勝するなど、優れた成果を収めています。

また、卒業生は、立命館大学・熊本大学・上海外国語大学等への進学、ハウステンボス等への就職など優れた進路実績を残しています。

身近に興味のある中学生等がおられましたら、ぜひご連絡ください。【連絡先 0920-47-0081（担当：鳥居・三好）】



祝 日本遺産第一号認定

日本遺産の島

壱岐

国境の島「壱岐・対馬・五島」～古代からの架け橋～



内海湾（小島神社）

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを国が認定するものです。

壱岐は日本本土と大陸との間に位置することから、古代から海上交通の要衝であり、交易・交流の拠点でした。一方で、国境の島であるために国防の最前線としての役割も果たしてきました。国境の島ならではの融和と衝突を繰り返しながらも、長い間続いてきた大陸との交流の歴史が評価され、平成27年4月に日本遺産第1号に認定されました。

壱岐島への旅行に関するお問い合わせ・お申込み

一般社団法人 壱岐市観光連盟

会長

長嶋

立身

〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触683-2 TEL 0920-47-3700

壱岐観光ナビ 検索

医療法人社団 生寿会

てらだファミリークリニック

理事長 寺田 寛

〒321-0132 栃木県宇都宮市雀の宮 5-5-1
TEL/FAX ; 028-654-2188
<http://terada-family-clinic.jp/>
info@terada-family-clinic.jp

消防設備 (点検・修理・工事・機器販売)

0 火災報知設備 0 消火器 0 避難器具
0 誘導灯 0 消火設備 0 住宅用火災報知器

昇盈エンジニアリング株式会社

代表取締役 畑津 邦裕

〒135-0015 東京都江東区千石 1-13-10
電話03-3647-5911

おみやげ、お食事、産直品

壱岐最大級の
お土産 & レストラン施設

うに屋の
あまごころ

Amagokoro
Ichiba
EST. 1953

壱岐

神々の宿る壱岐島
観て・食して・感じて
島をまるごと
ご堪能ください

あまごころ本舗株式会社
〒811-5132 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触 597
TEL: 0920-47-4580 FAX: 0920-47-3933
URL: <http://www.amagokoro.com>

関東初山会

初山出身者の方、親睦会へのご参加を心よりお待ちしております

会長 長嶋 文満
他 役員 一同

事務局 〒261-0003
千葉市美浜区高浜4-10-10-204
TEL 043-278-6246

壱岐とともに63年

東京渡良会

会長 山本 紘子

〒270-1142 千葉県我孫子市泉38-1-101

幹事長 高田英志
TEL & FAX : 04-7139-3862



飲料自販機のご用命は西武商事へ !!

西武商事株式会社

代表取締役社長 清水 幸彦

埼玉県狭山市大字北入曾1169番地 1
Tel. 042-957-2900 Fax. 42-957-9933
<http://www.tig-jp.co.jp>

代表取締役 横山 登

株式会社 三城洋行



手洗洗車
スプラッシュ自由ヶ丘

世田谷区尾山台 3-29

株式会社 長峰マネジメントオフィス

東京都知事(2)92648

代表取締役 長峰 隆徳

- 不動産の売買・賃貸の仲介
- 有効活用コンサルティング
- アパート建築のコンサルティング
- 住宅・アパートの建売事業
- リフォーム企画、設計、施工

〒158-0082 世田谷区等々力3-6-13-503
 TEL : 03-6805-9381 FAX : 03-6805-9381
 携帯 : 090-3200-3533 E-mail : marucho@poem.ocn.ne.jp



Ishikawa Yaki Tori で乾杯!



Ishikawa Yaki Tori 酒造株式会社

長崎県壱岐市芦辺町湯岳本村触 520
TEL0920-45-2111

お酒は 20 歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。

公正で正確な報道
 壱岐の島の情報

壱岐新報

ご購読の申し込み先

〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町片原触 247-7
 (株) 壱岐新報社
 TEL 0920-47-3196
 FAX 0920-47-3197
 ホームページ <http://ikishinpou.com>
 E-mail ikishinpou@oboe.ocn.ne.jp

壱岐島を元気にするメディア!




壱岐新聞社

代表 山内 武志

◎壱岐新聞のご購読・お問い合わせは…
☎0920-48-1860
 〒811-5132
 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触 942-1
 FAX 0920-48-1265
<http://ikishinbun.jp/>
 E-mail : info@ikishinbun.jp

本格仏蘭西料理「日比谷松本楼」

創業1903年、日比谷公園のほぼ中央に位置する日比谷松本楼。
 緑の森に囲まれた「レストラン ボア・ド・ブローニュ」では、本格仏蘭西料理をご満喫頂けます。




お食事のほかに、ご宴会、ご集会、
 ご結納・ご婚礼・ご披露宴、会議、
 出張お料理などにご利用下さい。

<本店>
 3F: レストラン ボア・ド・ブローニュ
 2F: 大小ご宴会場・ご披露宴会場
 1F: グリル、ガーデンテラス

**日比谷
 松本楼**
 SINCE 1903

- ・東京ビッグサイト店
- ・東大工学部2号館店
- ・学習院大学店・目白俱樂部
- ・東京女子医大店・グリーンテラス
- ・杏林大学病院店・ガーデントラス
- ・相鉄ジョイナス店
- ・大宮ルミネ店
- ・立教大学セントポルズ会館店

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-2
 Tel: 03-3503-1451 Fax: 03-3503-1460
<http://www.matsumotoro.co.jp>



天然温泉掛け流しの宿。壱岐で唯一、展望温泉の大浴場。湯気と窓の向こうには壱岐・湯の本島の絶景が広がります。



国民宿舎壱岐島荘

壱岐市勝本町立石西触 101
 TEL0920-43-0124
<http://ikijimaso.kankai.net/>

奥壱岐の千年湯

平山旅館

女将 平山 宏美

電話 0920-43-0016
<http://www.iki.co.jp>



壱岐な旅のお手伝い

「安全・快適・安心・満足」をご提供致します。

株式会社 玄海交通

☎ **0920-44-5826(代)**
fax 0920-44-8268
 長崎県壱岐市石田町筒城東触 1730



地 祥 発 酎 焼 麦

モンドセレクション 16年連続受賞蔵



松永安左エ門翁
720ml (43度)



壱岐スーパーゴールド
720ml (22度)



壱岐グリーン
720ml (20度)



むぎ焼酎壱岐
1.8L (25度)

むぎ焼酎 壱岐 玄海酒造株式会社

取締役会長 山内 賢明 取締役社長 山内 昭人 取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触550-1

TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

◎お酒は20歳になってから。 ◎お酒は適量を。 ◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう。

かめはだか 山の守

有限会社 山の守酒造場

取締役会長 山内 賢明 取締役社長 山内 昭人
取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触 85
TEL.0920-47-0301 FAX.0920-47-0384

壱岐焼酎



25度
1800ml
山乃守

◎お酒は20歳になってから。

東京壱岐雪州会100周年 おめでとうございます。

福岡壱岐の会

会長 川崎 日出雄
外 役員一同

事務局：福岡市博多区博多駅前
3-30-26壱岐市福岡事務所内
☎080-8378-5170

関西壱岐の会

会長 齋藤 肇
外 役員一同

事務局：大阪府大東市南楠の里町
2-21
☎080-4764-3316

東海壱岐の会

会長 永田 強
外 役員一同

事務局：名古屋市名東区
猪子石1-1704
☎052-774-1024

東京壱岐雪州会創立100周年 おめでとうございます



壱岐交通株式会社

〒811-5132壱岐市郷ノ浦町東触575-2
TEL(0920)47-1255 FAX(0920)47-5590
<http://iki-kotsu.com/bus/>

代表取締役 酒井 誠二

路線バスラッピング広告、貸切バスのご用命は
貸切部 0920-47-1161

株式会社 壱岐の華
代表取締役 長田 浩義



本格むぎ焼酎

株式会社 壱岐の華
長崎県壱岐市芦辺町諸吉二亦触1664-1 Tel (0920) 45-0041



透き通る壱岐の海へGO! オーシャンビュー客室は早めのご予約を

壱岐の大自然を体験メニューで満喫できる宿
無人島までシーカヤック&シュノーケリングや釣り筏での魚釣りは
毎年リピーターも多い。
コテージやキャンプ場もあるので、グループやファミリーに
大人気の施設です。

- ①宿泊料(1人1泊2食) 大人 7,200円 小人 4,700円
- ②コテージ1棟(定員6名) 1泊 15,400円
- ③シーカヤック 大人 3,100円 小人 2,500円

壱岐出合いの村


長崎県壱岐市郷ノ浦町新田触492番地
TEL 0920(46)0789 FAX 0920(46)0141

長崎県壱岐の島、癒しとくつろぎの宿

かねや別館




長崎県壱岐市芦辺町諸吉大石 472-12
 TEL 0920-45-0350 FAX 0920-45-8551
 ホームページ <http://www.iki-kaneya.com>



オランダフーズ株式会社

袋氷製造販売・冷食冷菓業務用卸販売

大好評！壱岐産ゆず使用 ゆず袋氷
昔馴染みの“袋入りかき氷”

(本社) 長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触1551番地
 TEL 0920-47-0239 FAX 0920-47-4648
 代表取締役 平川 進



壱岐カントリー倶楽部



代表取締役 森山 興邦
 理事長 山内 賢明

811-5533
 長崎県壱岐市勝本町新城西触1645
 TEL0920-42-1028 FAX0920-42-2274
 E-mail iki2eybd@hm.iki-vision.jp
 HP www.hn.iki-vision.jp/~ikicountryclub/

お酒は20歳になってから

世界の銘酒「壱岐焼酎」

麦焼酎発祥の地が産んだ世界ブランド



壱岐酒造協同組合

理事長 伊豆 平
 副理事長 山内 昭人

壱岐の豊かな自然に育った
「ゆず」に真心こめて

農事組合法人
壱岐ゆず生産組合
代表理事 長嶋邦昭

〒811-5731 長崎県壱岐市芦辺町国分当田触351
電話 0920-45-3120 FAX 0920-45-2796



あわび さざえ 伊勢海老専門店 三浦水産

ネット ショップ受付中 活きの良い食材を皆様へお届けします！

TEL:0557-36-8817 有限会社 三浦水産
FAX:0557-36-9673
http://marukinmiura.com 414-0043 静岡県伊東市新井 2-2-9

あいわ特許業務法人

所長 白石光男
弁理士
(郷ノ浦町物部出身)

〒104-0045 東京都中央区築地 1丁目12番22号
コンワビル 4階
TEL. 03(3524)3911
FAX. 03(3524)3912
E-mail:aiwa@aiwa-patent.jp
URL http://www.aiwa-patent.jp

カラオケボックス 銀座ミズタマリ

各種パーティー受けたまわります。
お一人様4500円 2時間飲み放題お食事6品付
(18時より24時まで)
その他のコースもございます！

〒104-0061
中央区銀座 8-6-21
ウォータータワービルB 1
電話03-3571-6871

壱岐市立 一支国博物館
IKI CITY IKIKOKU MUSEUM

【開館時間】8:45---17:30 (最終入館 17:00)
【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)
〒811-5322 TEL:0920-45-2731
芦辺町深江鶴亀触 515 番地1 一支国博物館

島のかいさんぶつ屋

有限会社 本尾海産

海産物製造卸元
催事グループ 壱岐名産品協会

代表取締役 本尾 博

〒811-5311 長崎県壱岐市芦辺町諸吉本村触430
TEL(0920)45-2838 FAX(0920)45-1998

故郷のお土産に
・壱岐の銘菓 加寿まき
・焼酎入りケーキ

土肥製菓

〒811-5511 壱岐市勝本町仲触471
電話 0920-42-0207
FAX 0920-42-2372

老岐で唯一の郷土料理屋

うにめし食堂

はらほげ



魚介類仲介・卸業

有限会社 はらほげ

代表取締役 三浦和幸



〒811-5311
長崎県壱岐市芦辺町諸吉本村触1307
TEL 0920-45-2153 (代表)
FAX 0920-45-0123 (時間外)
URL http://www.harahoge.com
E-mail harahoge@hyper.ocn.ne.jp

気持ちが落ち着く温もりの故郷
自分の思い出が詰まった郷里
誰もが原点に戻れる島「壱岐」へ



博多から壱岐までジェットフォイルで70分

九州郵船株式会社

(東京事務所) 〒100-0005
千代田区丸の内1-2-1
東京海上日動ビル新館5階
☎ 03-3214-1881
(本社) 〒812-0022
福岡市博多区神屋町1-27
☎ 092-281-0831

発着時刻等の確認はWEBで **九州郵船**

おみやげの店

地元で採れた雲丹を一本一本手詰している、一塩粒雲丹(壱岐産100%)わかめ・ひじき・アオサ・煮干等取り揃えています。地方発送も受けます。

(有) 吉田商店

〒811-5135
長崎県壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦174番地
TEL: 0920-47-0020
FAX: 0920-47-0030



重家酒造株式会社

TEL 0920-44-5002
FAX 0920-44-8401
〒811-5214
壱岐市石田町印通寺浦200番地
ホームページ
<http://www.omoyashuzo.com/>

壱岐の島の小さな蔵、重家酒造



(名)。かめで仕込む伝統的な製法を守り続けています。銘柄は雪洲・ちんぐ・村主・筒城浜・確蔵があり、それぞれ特徴のある味に仕上げています。



いつも美味しくいつも優しくおもてなし

政府登録 ビューホテル壱岐
〒811-5135 長崎県壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦401
TEL0924-47-0567 FAX0920-47-6832 <http://www.viewiki.com>



東京壱岐雪州会の益々の御発展を
祈念いたします。

本 格 焼 酎



株式会社 猿川伊豆酒造

〒811-5326 長崎県壱岐市芦辺町深江本村触1402-1
TEL0920-45-0200 FAX0920-45-1725
<http://www.saruko.com/> webmaster@saruko.com

住宅リフォーム専門
各種リフォーム設計・施工

住宅安全整備株式会社

代表取締役 宮坂 忠孝

〒253-0084

神奈川県茅ヶ崎市円蔵2078

電話・FAX 0467-84-8255

総合ビルメンテナンス業

特殊セラミックの断熱塗料剤「ガイナ」

〒144-0031

東京都大田区東蒲田二丁目6番16号

株式会社クラカタ商事

代表取締役 高見 仁也

URL : <http://www.kurakata.co.jp>



Ocean Dish

オーシャンディッシュクオン

〒108-0022
東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦ビル14階
TEL 03-5484-9000
FAX 03-5443-8970
E-mail: infoqoncojp@gmail.com

株式会社 アサヒ企画 ASAHI KIKAKU

代表取締役 立石 義昭

〒352-0001 埼玉県新座市東北2-40-6 ラ・ヴィータ 志木
TEL 048-423-3722 FAX 048-423-3723

URL <http://www.asahi-kikaku.jp/> E-Mail: tateishi@asahi-kikaku.jp

- ☆ 半導体 (LSI) の設計・開発、製造及び販売
- ☆ 自動車向け組込みソフトウェアの設計開発
- ☆ システム開発事業及び開発支援事業

当社は、お客様と一体となり
設計開発支援の提供を行っています。



青岐の塩・天然にがり

きらめく海から生まれたこだわりの塩

周囲を海で囲まれた美しい島、長崎県青岐。人々の生活や自然に昔ながらの風情を残しています。「青岐の塩」は青岐のきらめく海水をくみあげ、平釜でじっくり煮詰めた手作り塩です。



玄界灘の澄みきった海

きらめく海から生まれたこだわりの塩

青岐の塩



株式会社 なかはら



NAKAHARA

長崎県青岐市芦辺町箱崎中山触828-1

TEL 0920-45-4888 FAX 0920-45-4560

フリーダイヤル 0120-611-401

〈東京沓岐雪州会〉の来歴

今年で創立100周年の歴史刻む

東京沓岐雪州会は長崎県沓岐市出身者の関東地区における親睦団体です。1917年（大正6年）の創立以来今年で100周年の歴史を刻んできました。

最初は雪州会としてスタート。この名称が長く続きましたが、福岡、関西、中部（現東海）沓岐人会でも一時期「〇〇雪州会」とし、本家の雪州会でも「東京」を冠して「東京雪州会」として長期間親しまれて来ましたが、ただ東京以外は名称から「雪州会」を外して「〇〇沓岐の会」に変更しています。

雪州会の対外活動も年々盛んになり「東京雪州会」では沓岐出身者の団体であることが外部に分かりづらい。そこで2012年の創立95周年を機に「東京沓岐雪州会」に変更。「沓岐」を名称に入れて積極的にPRすることにしました。同時に創立時から続く伝統ある「雪州会」の名称も残したわけです。

玄界灘に位置する沓岐の島は古事記の時代から「大八州」（おおやしま）の一つに数えられ、日本書紀では「沓岐の州」または「沓岐の島」と表記し、いずれも「ゆきのしま」と読ませているようです。雪州会の名称の由来は諸説ありますが、多くの古書による読み方に由来していることはほぼ確かかなようです。

歴代会長 〓 初代三富道真、2代松永安左エ門（終身）、3代眞鍋儀十、4代白川忠則、5代長岡元、6代松坂直美、7代後藤圀丸、8代立石公博、9代森谷正規、10代山内賢明、11代牧山康敏、12代万谷正（現）の各氏と続く。

〈沓岐に誇りを 未来に夢を〉

◆「雪州会だより」100周年記念号です。

沓岐の野山に枯葉が舞い、小鳥が木守柿をついばむ。「つるべ落とし」の日脚は速く、景色は晩秋そして冬支度へと移ろう――

今年も地球の各地で天変地異が起り、人類に自然の猛威を見せつけた。沓岐市も6月末から7月初めにかけて50年に一度という記録的な集中豪雨に見舞われ、NHKテレビはこの間、連日のように沓岐の豪雨情報を速報したほどです。

そうした中で東京沓岐雪州会は今年で100年の歳月を積み重ねてきました。機関誌「雪州会だより」は今回、100周年記念号として編集。これまでの歩みを振り返り、多くの皆さんの「感慨」と祝意をご紹介します。

5人の雪州会会長経験者による座談会では会の思い出などを語りあった。更に沓岐出身者で島内外で幅広く活躍された方々に改めてスポットを当て、人物像を寸描。先人の足跡を通じて若い人など多くの沓岐人の励みになればと考えます。

お忙しい中、各地域や各界の方々には祝意と心強いメッセージをお寄せいただいた。企業・団体・個人の皆さんには100周年祝賀広告にもご協賛いただいたこと、誌面を通じて厚く御礼申し上げます。

東京沓岐雪州会は第2世紀に入り新たな1歩を踏み出しました。これからも故郷や会員との絆を固くして、素晴らしい「ふるさと会」にしたいものです。

（「雪州会だより」編集者：牧山康敏）



栃木新工場



非鉄金属用フラックスのトップメーカー



株式会社 **ファウンテック**

代表取締役 **万谷 正**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

TEL 03-5218-8291 FAX 03-3214-8091

URL <http://www.fountec.co.jp> E-Mail fountec@foutec.co.jp

営業所：東京 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

名古屋 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F

大阪 大阪市淀川区西中島5-2-5 中島第2ビル408

九州 福岡市博多区博多駅前2-17-15 NPCビル3F

技術部：名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F

栃木研究室：栃木県鹿沼市茂呂778-1

工場：奈良 奈良県御所市室493

栃木 栃木県鹿沼市茂呂778-1

海外連絡事務所：中国（上海、青島）、タイ（バンコク）

ベトナム（ハノイ・ホーチミン）

ひとり暮らしって、
コミュニケーションだね。

恋するレオパレス

SUZU HAS JUST STARTED LIVING ON HER OWN.
SHE HAPPENED TO IMAGINE WHAT WOULD HAPPEN
IF HER FAVORITE SENIOR
VISITED HER ROOM SOME DAY.

いい部屋、増やしています。

■お問い合わせは

[9時～21時受付]

フリーコール
0120-0080-21

本社/東京都中野区本町2-54-11 国土交通大臣免許(10)第2846号

LINE公式アカウントで
お得な情報配信中!



レオパレス21